JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。

2017 MAY Vol.15

未来への心をつなぐパートナー
～農をはぐくみ 地域をつなぐ～

みらいろ

JAふくしま未来
広報誌 5月号

5

JAふくしま未来

みらいろ歳時記

MIRAIRO SAIJIKI

5月5日の立夏を境に、季節が夏に変わります。江戸時代に山口素堂さんによって詠われた「目には青葉、山ほととぎす、初鰹」はこの時期を表していて、目・耳・口で季節を感じ取るこの俳句はその時代の人々に親しまれました。俳句だけでなく、さわやかな風が吹き、景色が色濃くなり始める初夏は「蛙始鳴（かわず、はじめてなく）」「蚯蚓出（みみず、いずる）」「竹笋生（たけのこ、しょうず）」という候がある通り、何かが始まるパワーに満ち溢れた季節です。

5月は田植えの時期であり、夏野菜の苗が数多く出回る時期でもあります。家庭菜園ブームにより、苗の生産規模は年々増加していて、私たちも様々な品目・品種の苗を購入することが出来るようになりました。苗の定植において気を付けなければいけないことは「雨の日に植えない」「午後、とくに夕方に植えない」「風の強い日に植えない」の3点。土にしっかり根を張るまで、不安定な状態にある苗は、しっかり光合成をして呼吸が出来るようにこまめに管理をしてあげましょう。

もくじ

02…みらいろ歳時記
03…若き農業者紹介コーナー　次代の仲間
04…ニュース
06…特集 新入職員紹介
10…みらいろトピックス
　福島地区、伊達地区、安達地区、そうま地区
18…気の向くままに散歩道　おでかけ　みらいろーど
20…所得アップ実践農家の取り組みを紹介　農業人
22…今月の営農情報
23…農の達人栽培講座
　～作業ごとのポイントや工夫を解説～
25…所得アップ実践農家の取り組みを紹介
26…輝きを未来へ　相馬農業高校
27…よくわかる福大農学系学部設置について
28…女性部活動紹介
30…ベジフルみらいろキッチン
31…元気にすくすく　みらいっ子
32…キリン絆プロジェクトレポート
33…健康コラム
34…みらいろ作品展
36…ＪＡ活用術
38…ＪＡからのお知らせ
40…農のある風景

ウラ話用に撮影した写真

【表紙のウラ話】

今回のなかなかイケてる表紙。実は一発ＯＫで撮れた写真でした。つまりウラ話に載せている写真がウラ話用に撮影したヤラセ写真だという、ウラ話のウラ話。

何はともあれ、真ん中の伊藤さんの満面の笑み、両サイドを固める國分さん㊧と後藤さんのキメ顔、アスパラのピント、３拍子全てが揃った最高傑作といえる表紙写真になりました。皆さんありがとうございました！

次代の仲間

地域農業が成り立つように

本宮市青田
伊藤広明さん

収穫は一本ずつ丁寧に行う

4月上旬。地面から直径2㎝程の太さのアスパラが顔を出す。収穫は4月初旬から10月までの長丁場だ。

今年で就農10年目を迎えた広明さんがアスパラ栽培を始めたのは平成21年。自分で生産する品目として青田地区で推奨されているアスパラに出会った。栽培する上でのこだわりは良い堆肥を使い、味の良いものをつくること。近くの堆肥センターに足を運び、配合の割合などを確認したものを使用する。販売でのこだわりは商品の見せ方や値段の付け方に気を使うこと。「どうしたら買ってもらえるか」を重要視し、リピーターになってもらえるよう工夫している。広明さんは「農業の良さは自分の好きなように出来るところ。その反面、責任を持ってつくっている」と話した。

今年、ＪＡの青年部・農業後継者連絡協議会の初代会長に選ばれた広明さん。自分の農業を維持していくことはもちろん、地域農業が成り立つための盛り上げ方を若手農業者仲間と模索中だ。

愛車は癒やしの空間

愛車に乗ってはにかむ広明さん

ずっと惚れ込んでいた「トヨタ８６」を３年前に購入した広明さん。休みの日には、見て、乗って楽しんでいる。洗車も自分の手で丁寧に行う。「ドライブも好きだけど、眺めているだけでも満足」と車好きな一面が垣間見えた。

販売高300億円目指す

農業振興大会開催・農家が指導役担う「農の達人」新設

▲「販売高300億円の早期達成目指す」と菅野組合長

平成29年度農業振興大会を4月1日、JA福島ビルで開き、県や管内市町村、生産者代表、JA役職員ら267人が出席しました。

大会では、販売品販売高300億円の早期達成を掲げ、主要19品目の所得アップなどを組み込んだ「平成29・30年度地域農業振興計画」を打ち出しました。長年の経験と豊富な知識、技術を持つ中核農家が指導役を担う「農の達人」を新設。席上、委嘱状交付を行いました。菅野孝志組合長は「組合員と目標を共有し、持続可能な農業の実現に全力で取り組む」と強調。早期目標達成を誓いました。

▲菅野組合長から「農の達人」の委嘱を受けるメンバー

職員を代表して、二本松営農センターの國分正人副センター長が決意表明を行いました。

記念講演では、友好JA協定を結ぶJA秋田おばこ営農販売部次長の池田政美さんが「JA秋田おばこ園芸振興方針について」と題して講演しました。

地域農業振興計画には主要19品目の所得アップの取り組みのほか、意欲ある担い手の確保、育成、販売戦略、営農指導の強化などが盛り込まれています。

この「地域農業振興計画」の冊子は、5月の組合員訪問日に、全正組合員宅へ配付となります。

担い手農家と連携強化

担い手渉外TAC出発式

▲TAC担当者を代表して決意表明を行う職員

農業所得向上と担い手農家との連携強化を目指し、販売、購買、農業融資、農業関連共済などトータル的に営農活動に対応する担い手渉外（TAC）の出発式を4月4日、JA福島ビルで開きました。今年度は、4人の増員を図り、21人体制で取り組みます。

関係者ら50人が出席した式では、伊藤昌廣専務が「組合員の意見・要望に応えられる情報提供・課題提案を行い、農業所得アップに向け取り組みを強化する」とあいさつ。太田貴司係長が「農家所得の向上に全力で取り組む」と決意表明しました。

あだちのめぐみ1t贈呈

福島の子ども保養プロジェクトへお米贈呈式

▲米俵を手渡す菅野組合長㊨

当JAは14日、福島県生活協同組合連合会などが企画する「福島の子ども保養プロジェクト」へのお米1t贈呈式を本店で行いました。菅野孝志組合長と福島県生協連の吉川毅一会長など5人が出席。菅野組合長は米俵を吉川会長へ手渡しました。

菅野組合長は「震災後、皆さんに大変お世話になった感謝の気持ちを次代を担う子ども達に繋いでいきたい」と話し、吉川会長は「7年目になるプロジェクトでは、県有林を活用した『子どもの遊び塾』という新たな取り組みも始める。子ども達に福島の農産物を食べて元気になってもらいたい」とこたえました。

今回贈呈したのは、安達地区のブランド米「あだちのめぐみ」で、今後、保養プロジェクトの中の食事などで使用されます。

5年10ヶ月ぶりの再開

山木屋支店再オープン

▲再スタートを祝すテープカット

平成23年の東京電力福島第一原子力発電所事故による伊達郡川俣町山木屋地域の避難指示区域が、3月31日に解除になったことを受け、当JAは4月3日、山木屋支店の同地域内での営業を再開しました。同支店で行った記念式典では、参列者約40人が5年10ヶ月ぶりの再開を喜びました。

山木屋地域は震災後の平成23年4月に国が定める計画的避難区域に指定されました。その後、平成25年8月には一部に居住制限区域があるもののほぼ全域が避難指示解除準備区域に指定され、平成27年8月からは帰還に向けた長期滞在が可能となる準備宿泊も始まりました。

山木屋支店は山木屋地域が避難指示区域に指定されて以降、川俣支店内の仮店舗で営業を続けていました。平成28年3月からは仮店舗での営業と並行して、以前の山木屋支店内で貯金や営農の相談窓口を週2回設けて帰還希望者の支援を行ってきました。

式典では菅野孝志組合長や川俣町の佐藤金正町長など代表者8人がテープカットで再オープンを祝いました。式典後に窓口を利用した渡邉福七さんは「川俣支店に行くよりも近くなった。震災前の状態に戻ってきて嬉しい」と話していました。

▲窓口利用者第1号の渡邉さん㊧

社員食堂＋福島の食の発信場所へ

てれすとらん旬楽里オープン

▲てれすとらん旬楽里だけで味わえるカレーも人気

当JAが運営するそば蔵「旬楽里」の2号店となる「てれすとらん旬楽里」が4月17日から、NHK福島放送局内にオープンしました。大衆食堂とNHKの社員食堂としての機能を期待される同店舗では、従来の旬楽里のメニューに加え、おにぎりやいなりずしの様な軽食やお子様ランチ、日替わりランチなど、幅広いメニューを提供。季節ごとの福島県産食材を使用しながら地産地消を発信していきます。

旬楽里2号店の出店は、農産物直売所ここら吾妻店内にある「ここら亭」の常連であるNHKの本保晃局長が、社員食堂のフードサービス会社の切り替えに伴い、JAに出店を依頼したことがきっかけ。「全国転勤の社員に福島の農産物を使った手作り料理を食べて一息つける場所を作りたい」という想いがあります。

新店舗の食材には、農産物直売所ここらで販売している野菜や米を使用します。従来の旬楽里では週替わりランチを提供していましたが、新店舗では社員食堂を兼ねているため日替わりランチに変更しています。

14日に行ったプレオープン試食会には、JAの常勤役員やNHKの役職員など11人が出席。日替わりランチを食べた本保局長は「思った以上にきれいな見た目で、品目も多く、美味しかった。福島の食を知る場にもなり、今後、多くの方に足を運んで頂けそう」と期待を述べました。

「てれすとらん旬楽里」の営業時間は11時半から14時半まで、定休日は毎週土曜日です。

▲副菜が多い日替わりランチ

新入職員紹介

4月に入り、新採用職員が各部署に配属となりました。当JAでは4月3日、北信支店で入組式を開き、新採用職員68人が新たな一歩を踏み出しました。

式には新採用職員や役員など約80人が出席。菅野孝志組合長が「諦めないで果敢に挑戦し続ける本気力を持って仕事に励んでほしい」と激励。その後、新入職員を代表して北野千晶職員が辞令を受け取り、国分真職員が「仲間と助け合いながら何事にも全力で取り組みたい」と力強く決意を述べました。

組合員の皆様、現在それぞれの部署で活躍中のフレッシュな職員をどうぞよろしくお願いいたします！

本店

佐藤　結（さとう　ゆい）

子どもと遊ぶことが好きです。子どもだけではなく組合員の皆さんに身近な存在になりたいです。

配属：共済部共済事務課
出身：伊達市
趣味：音楽鑑賞

木村　友里恵（きむら　ゆりえ）

毎日ギターとピアノを練習しています。仕事もコツコツ経験を重ねていきたいです。

配属：共済部共済事務課
出身：福島市
趣味：テニス・ピアノ

飯塚　怜（いいつか　れん）

楽天の試合観戦で応援しているときのように、いつも元気で仕事をします。

配属：金融部融資業務課
出身：伊達市
趣味：スポーツ観戦

半澤　佳樹（はんざわ　よしき）

長年続けた野球で培った明るいあいさつを心がけます。

配属：金融部融資推進課
出身：国見町
趣味：野球

国分　真（こくぶん　まこと）

ダイビングで得た感性で商品知識を吸収し、わかり易く魅力を伝えたいです。

配属：営農部直販安達地区センター
出身：本宮市
趣味：スキューバダイビング

福島地区

竹澤　優人（たけさわ　ゆうと）

休日は車で遠出をします。その積極性を生かし仕事に取り組みます。

配属：信陵支店
出身：福島市
趣味：散歩・ドライブ

高橋　陸（たかはし　りく）

中・高と続けたテニス部で身につけた粘り強さや団結力を仕事に生かしていきます。

配属：清水支店
出身：福島市
趣味：テニス

永林　未羽（えいばやし　みう）

美味しいお店を探すときの様な行動力を仕事でも発揮したいです。

配属：北信支店
出身：福島市
趣味：カフェ巡り

遠藤　祥子（えんどう　しょうこ）

映画や音楽鑑賞が好きです。どんなときも好奇心を持って仕事に励みたいです。

配属：北信支店
出身：福島市
趣味：読書

加藤　名津美（かとう　なつみ）

旅行雑誌を読むのが好きです。仕事も想像力を膨らませて取り組みます。

配属：福島地区経済課
出身：福島市
趣味：旅行・買い物

伊達地区

桑島　潤（くわじま　じゅん）

スキー場で知り合った仲間たちとスノーボードを楽しんでいます。コミュニケーションを大切にしていきます。

配属：伊達地区経済課
出身：伊達市
趣味：スノーボード・サッカー

山本　暁（やまもと　あきら）

野球で培った根性で地域の復興に貢献できるよう精進します!

配属：伊達地区催事課
出身：伊達市
趣味：野球

齋藤　龍之介（さいとう　りゅうのすけ）

高校では陸上部でした。長距離走のように根気強く仕事をしたいです。

配属：北福島営農センター
出身：福島市
趣味：ランニング

阿部　友哉（あべ　ともや）

週1回ソフトテニスを続けています。それ以上に意欲を持って仕事に励みます。

配属：飯野支店
出身：福島市
趣味：ソフトテニス

佐藤　舞（さとう　まい）

バレーボール部の練習と同じように、仕事も熱心に取り組みます。

配属：川俣支店
出身：川俣町
趣味：バレーボール

橋本　紗英（はしもと　さえ）

小学校から楽器演奏を続けています。仕事でも継続力を発揮して成長したいです。

配属：伊達崎支店
出身：伊達市
趣味：野球観戦

安藤　玲奈（あんどう　れな）

楽しいことと可愛いものが好きです。楽しみながら思いやりのある対応をしたいです。

配属：桑折総合支店
出身：伊達市
趣味：カラオケ

小嶋　苑香（こじま　そのか）

今年はギターに挑戦しようと思っています。仕事もチャレンジ精神を忘れずに頑張ります。

配属：長岡支店
出身：伊達市
趣味：バスケットボール

蓬田　理華（よもぎた　りか）

音楽鑑賞が好きです。リラックスして話を聞いて頂けるような言葉づかいを心掛けたいです。

配属：上保原支店
出身：桑折町
趣味：バドミントン

関根　優香（せきね　ゆうか）

時間があるときは野球を見に行きます。仕事も常に興味を持って取り組みたいです。

配属：保原総合支店
出身：伊達市
趣味：野球観戦

そうま地区

佐藤　裕基（さとう　ゆうき）

和太鼓で学んだチームワークの大切さを意識して仕事に励みたいです。

配 属：そうま地区農業振興課
出 身：伊達市
趣 味：和太鼓

二階堂　翔（にかいどう　かける）

ドライブが好きです。運転のように確認を怠らず、仕事でミスを起こさないようにしたいです。

配 属：大玉営農センター
出 身：福島市
趣 味：ドライブ

宗形　雄久（むなかた　かずひさ）

スキーで培った体力と元気で、仕事を滑らないように頑張ります。

配 属：岩代営農センター
出 身：二本松市
趣 味：スキー

菅野　直樹（かんの　なおき）

休日は飼い猫と遊びます。仕事では思いやりのある対応をしたいです。

配 属：二本松営農センター
出 身：福島市
趣 味：散歩

兼谷　祐那（かなや　ゆうな）

バスケットボールやハンドボールの経験があります。常に前向きな姿勢で頑張ります。

配 属：大玉支店
出 身：本宮市
趣 味：ハンドボール

内藤　真由子（ないとう　まゆこ）

体を動かすことが好きです。何事にも積極的に取り組みます。

配 属：原町総合支店
出 身：南相馬市
趣 味：バドミントン

荒　佑子（あら　ゆうこ）

1歳の子どもがいます。仕事と育児を両立して頑張っています。

配 属：上真野支店
出 身：須賀川市
趣 味：沼釣り

佐藤　尚人（さとう　なおと）

お菓子作りが得意です。常に好奇心を持って仕事をします。

配 属：中村みなみ支店
出 身：福島市
趣 味：お菓子作り

高田　優作（たかだ　ゆうさく）

常に笑顔を絶やさず、少しでも地域のためなるように全力投球で頑張ります!

配 属：そうま地区地域支援課
出 身：南相馬市
趣 味：野球

吉田　雅俊（よしだ　まさとし）

高校、大学とソフトボールを続けてきました。「続ける」という粘りを仕事に生かします。

配 属：そうま地区生活資材課
出 身：国見町
趣 味：ソフトボール

佐藤　崇（さとう　たかし）

弓道で身に着いた集中力を仕事にも生かしたいです。

配 属：相馬中村営農センター
出 身：福島市
趣 味：弓道

北野　千晶（きたの　ちあき）

小学校からバレーボールを続けています。進んで何事にも挑戦します。

配 属：飯舘総合支店
出 身：白河市
趣 味：バレーボール

鴫原　圭亮（しぎはら　けいすけ）

休日は友人たちとスポーツをします。チームプレーのようなコミュニケーションを大切にしたいです。

配 属：福浦支店
出 身：川俣町
趣 味：漫画・スポーツ

菅野　友美（かんの　ともみ）

手作りでアクセサリーを作っています。仕事で細かいところまで気を配れるようになりたいです。

配 属：小高総合支店
出 身：南相馬市
趣 味：ハンドメイド

鈴木　貴大（すずき　たかひろ）

野球、テニスなどいろいろなことに挑戦してきました。仕事でも多種多様に取り組みます。

配 属：原町西支店
出 身：塙町
趣 味：スポーツ

齋藤　広貴（さいとう　ひろき）

野球を長年続けてきました。任せられた仕事は最後までやり遂げます。

配 属：小高営農センター
出 身：川俣町
趣 味：野球

松井　昂平（まつい　こうへい）

古い町並みや建物が好きです。自分の感性を生かして業務に取り組みます。

配 属：原町営農センター
出 身：三春町
趣 味：プラモデル作り

本名　宰（ほんな　おさむ）

全国各地の水族館を巡っています。仕事でも新しい発見との出会いを大切にしたいです。

配 属：原町営農センター
出 身：昭和村
趣 味：水族館巡り

皆様どうぞよろしく
お願い致します。

佐藤　裕輔（さとう　ゆうすけ）

責任感を持って仕事に打ち込み、息抜きにプロ野球や海外サッカーを観戦したいです。

配 属：堰本支店
出 身：伊達市
趣 味：スポーツ観戦

木村　福乃（きむら　ふくの）

テレビで得た情報を活かして組合員さんとたくさんコミュニケーションをとりたいです。

配 属：粟野支店
出 身：伊達市
趣 味：DVD鑑賞

津田　好成（つだ　よしなり）

消防団や地域のソフトボールクラブに所属しています。地域のために頑張ります。

配 属：梁川総合支店
出 身：伊達市
趣 味：野球・ソフトボール

佐藤　結香（さとう　ゆか）

仕事に一生懸命取り組んで、休日には温泉めぐりに行きたいです。

配 属：霊山支店
出 身：伊達市
趣 味：お菓子作り

野田　裕基（のだ　ひろき）

話すことが好きなので、組合員の皆さんとたくさん話したいです。

配 属：森江野支店
出 身：伊達市
趣 味：運動・音楽鑑賞

安達地区

渡部　沙也果（わたなべ　さやか）

食べることが好きで、いろんな料理にも挑戦します。仕事でも前向きに挑戦したいです。

配 属：安達地区地域支援課
出 身：福島市
趣 味：食べる・寝る

渡邉　聖人（わたなべ　きよと）

陸上競技部の経験を活かして組合員さんのために全力疾走します!

配 属：梁川営農センター
出 身：伊達市
趣 味：映画鑑賞

加藤　郁弥（かとう　ふみや）

歌うことが好きで、月1回はカラオケに行きます。努力をモットーに頑張ります。

配 属：梁川営農センター
出 身：伊達市
趣 味：カラオケ・車いじり

野村　真吾（のむら　しんご）

旅行で遺跡や博物館を巡ります。組合員の皆さんと会話をしながら良い場所を紹介したいです。

配 属：霊山営農センター
出 身：桑折町
趣 味：旅行

清野　拓也（せいの　たくや）

ドライブやランニング、読書が好きです。仕事でもいろいろな業務に挑戦したいです。

配 属：国見営農センター
出 身：福島市
趣 味：ドライブ

志村　友伍（しむら　ゆうご）

バスケットボールで身に着けた体力を生かし何事にも挑戦していきたいです!

配 属：安達支店
出 身：福島市
趣 味：映画鑑賞

安齋　朋洋（あんざい　ともひろ）

道の駅巡りで地域の特色を感じるのが好きです。仕事でも地域の魅力を発信したいです。

配 属：二本松南支店
出 身：二本松市
趣 味：ドライブ・登山

浦野　幸奈（うらの　ゆきな）

社会人野球チームのマネージャーをしています。お客様にも気配りのある対応を心掛けます。

配 属：二本松支店
出 身：福島市
趣 味：スポーツ観戦

菅島　竜斗（すがしま　りゅうと）

毎日サッカーをしています。元気の良さを出していきたいです!

配 属：二本松支店
出 身：福島市
趣 味：サッカー

安瀬　美咲（あんぜ　みさき）

高校では合唱部、大学ではアカペラサークルでした。気持ちのこもったあいさつを大事にします。

配 属：二本松支店
出 身：福島市
趣 味：歌うこと

甲斐　将人（かい　まさと）

猫が好きです。仕事でも優しい対応を心掛けたいです。

配 属：白沢支店
出 身：本宮市
趣 味：猫を可愛がる

川名　諒（かわな　りょう）

最近は温泉めぐりにはまっています。組合員さんおすすめの温泉地にも行ってみたいです。

配 属：本宮支店
出 身：本宮市
趣 味：釣り

大堀　陽美（おおほり　みなみ）

映画鑑賞が好きで、新しい映画もチェックします。業務でもアンテナを張って取り組みます。

配 属：本宮支店
出 身：本宮市
趣 味：映画鑑賞

菅野　雄太（かんの　ゆうた）

体を動かすことが好きです。フットワークを軽くして業務にあたります。

配 属：東和支店
出 身：川俣町
趣 味：バドミントン

関根　和希（せきね　かずき）

球技が好きで、特にボウリングをします。仕事でもいいスコアを出せるように頑張ります。

配 属：岩代支店
出 身：本宮市
趣 味：ボウリング

販売金額8億円達成に向けて

福島地区花き専門部会通常総会

▲想いを述べる渡辺会長

福島地区花き専門部会は3月30日、第14回通常総会をウェディング・エルティで開きました。生産者など約100人が出席し、平成29年度の計画について確認しました。

同部会では28年度、既存生産者の生産量維持のための「新規品目提案会」や、小菊班における園地巡回数の増加などの新たな取り組みを行いました。病害の発生による減収や高齢化による栽培面積の減少の影響もありましたが、全体的な販売金額は7億1,749万円と前年比104%となりました。

今年度もこれらの取り組みは継続し「質的・量的ブランド力の維持」を部会テーマとして産地維持に取り組みながら、販売金額8億円達成を目指します。

総会では同部会の渡辺国稔部会長が「合併し、各地区との情報交換をしながら花き振興をさらに図っていく必要があると思った。今は地区ごとで取り組みを行っているが、将来的には一つにまとまって販売高20億円を達成したい」と話し、菅野孝志組合長は「JA全体の花き販売が9億2,700万円でそのうちの7億円以上が福島地区である。今後、一体的な取り組みを行いながら、『JAふくしま未来の花』としての価値を高めていって欲しい」と話しました。

植木・山野草など5000点並ぶ

植木部会「庭坂植木市」

福島地区植木部会は3月31日から4月2日まで、植木市を庭坂共選場で開催しました。今回はサクラやツバキ、山野草など約5,000点が並びました。

昭和48年から続く植木市は、毎年4月、5月、11月に行われます。部会長の梅津朝雄さんは「こんなに長く続く植木市は福島市内に無い。珍しいものも豊富に揃えているので、多くの方に来ていただきたい」と話していました。

▲人気の山野草を買い求める来場者

【庭坂植木市開催！】
日付：5月26、27、28日
時間：9：00～16：00
場所：庭坂共選場
（福島市町庭坂字狐林28）

地元産小麦の生産へ

「麦ふみ」を体験

▲楽しみながら麦を踏む参加者

当JAと㈱銀嶺食品は現在、地元産の小麦生産に向けて取り組んでいます。福島市松川の㈱松川アグリ農産と連携して、昨年の10月に約20aに「ゆきちから」を播種。4月2日には、関係者約10人で「麦ふみ」を行いました。

麦ふみは苗を寒さや乾燥に強くし、成長を促進させるために行う作業。参加者は一列に並び、松川アグリ農産の丹治紀市社長に教わりながら少しずつ麦の芽を踏みしめていきました。

今後6月頃に収穫時期を迎える予定で、今年は約600kgの麦が収穫できると見込んでいます。

地元の花木盛り上げる

ひらた花咲まつり

▲休憩所でおもてなしをした部員の皆さん

女性部福島地区平田支部の皆さんによる手作りの催し「ひらた花咲まつり」が4月8日と9日に行われました。今年は花の開花が遅れたため、5分咲きという状態での開催となりましたが、「蛇音山（じゃおんざん）」では満開のレンギョウやトウカイザクラを楽しむことができました。「花が少ない分みんなの笑顔で足を運んで下さる皆さんをおもてなししよう」という気持ちで、部員の皆さんは4か所の休憩所で温かい飲み物のサービスを実施。玉こんにゃくや手作りの小物なども販売して催しを盛り上げました。

役職員らが冥福祈る

㈱ジェイエイ新ふくしまライフ鎮魂祭

▲玉串奉奠をする菅野組合長

ジェイエイ新ふくしまライフは4月14日、JAホールやすらぎで鎮魂祭を開き、参列した役職員や関係者約60人が平成28年度に亡くなられた方々の冥福を祈りました。

大笹生の白和瀬神社の宮司が祭礼を執り行い、菅野孝志組合長が「ご家族の幸せと繁栄を見守り続けてください」と追悼の言葉を述べました。その後、菅野組合長や関係者らが玉串奉奠をしました。

同社の菅野嘉宏社長は「地域の方々に感謝し、今後も質の高いサービスを届けていきたい」と話していました。

効率良い圃場更新を

長穂接ぎ講習会

当JAは20日、りんごの長穂接ぎ講習会を福島市余目の圃場で開きました。生産者など約40人が出席し、講義や実演から長穂接ぎのメリットや接ぎ方を学びました。

長穂接ぎは通常の2～3芽が付いた枝を接木する方法とは異なり、50㎝から1m程の太く長い枝を接ぐ方法です。長穂を使うことで接いだ翌年からの収穫が見込め、生産量を落とさず圃場の更新ができます。

講習会ではJAの佐藤宏一職員が実技をしながら接ぎ方を詳しく説明しました。

▲接ぎ方を説明する佐藤職員

全国の小学5年生へ

社会科資料集表紙に野崎隆宏さん

福島市沖高の果樹農家の野崎隆宏さんが今年から、全国の小学5年生に配布される社会科の教科書資料集の表紙に掲載されています。発行元である㈱文溪堂の担当者によると、「桃と生産者と農作業の様子がよく伝わる」ことから使用したとのこと。野崎さんは「福島県内では5年生で農業体験を実施する学校が多い。過去に児童の受け入れをしたことがあるので、農作業をする児童達が資料集を見て福島市の桃を知って、たくさん食べてくれたら嬉しい」と話していました。

▲表紙に掲載された野崎さん

▲今年度の社会科資料集

掲載された写真は、野崎さんが以前、果樹の復興に取り組んでいる農家として全国紙の取材を受けたときのものです。

桃の花の下でBBQ味わう

献上桃の郷・桑折町の桃園で

一面ピンク色に染まる桃の花を楽しみながらバーベキューを味わう、「献上桃の郷BBQフェス2017」が4月16日、桑折町伊達崎のピーチライン沿いの桃の郷ポケットパークで開かれました。

会場には、家族連れやグループなど約1，000人が参加。間もなく満開を迎える桃の花を楽しみながら、用意されたバーベキューを味わいました。ステージでは、AKB48Team8福島県代表の舞木香純さん、群馬県代表の清水麻璃亜さんのミニライブや抽選会も行われ人気を集めました。

▲ピンクに染まった桃園でイベントを楽しむ参加者

補助教材本772冊を贈呈

JAバンク食農教育応援事業

伊達地区本部は小学5年生向け補助教材「農業とわたしたちのくらし」を同地区管内の小学校22校に772冊贈呈しました。

この取り組みは、JAバンクの食農教育応援事業の一環で、子どもたちに食や環境、農業への理解を深めてもらおうと、平成19年から取り組んでいます。

3月28日には伊達市立伊達小学校で贈呈式を開き、萩原嘉昭伊達地区担当常務が佐々木義通校長に教材本とDVDを手渡しました。

佐々木校長は「農業に関わることが少ない児童たちに興味を持ってもらえるよう活用していく」と話しました。

▲補助教材を渡す萩原常務（中）

営農指導員研修 農家が受け入れ

実務研修を前に説明会

伊達地区では、3年未満の営農指導員の資質向上を目指し、農家の協力で実務体験研修を毎年行っています。4月6日に事前説明会をみらいホール保原で開きました。

説明会には、受入農家と営農指導員ら約40人が出席。萩原嘉昭伊達地区担当常務が、「実務経験を通し、一日でも早く一人前の営農指導員になるよう励んでほしい」と激励しました。担当職員と受入農家がそれぞれ自己紹介し、計画などを確認。担当職員は来年2月までの期間、それぞれの受入農家で14日間以上の研修を行います。

▲研修計画などを確認した説明会

農産物直売所の買い物お得に

JAカード利用で5％割引

4月1日から当JAの農産物直売所で、JAカードを利用して買い物をするとお買い物金額が5％割引になるサービスがスタートしました。伊達地区本部では4月10日、農産物直売所「みらい百彩館んめ～べ」の店頭で同地区の金融渉外担当者が来店客に対してPR活動を行いました。

同サービスは当JA管内にある対象12店舗で買い物をする際にJAカードを利用すると、カードの利用代金請求時に直売所での利用分が5％割引きされて請求されるというものです。

▲んめ～べでJAカード利用をPRする職員

今年度の販売高8億円超目指す

「みらい百彩館んめ～べ」生産者大会

農産物直売所「みらい百彩館んめ～べ」は4月5日、伊達市内で「第8回生産者大会」を開きました。大会には出荷会員90人が出席し、平成28年度の販売実績や29年度の販売計画などについて確認しました。

29年度は生産農家の巡回指導や講習会を開催し品質向上に努めるほか、催事や食育イベントを充実させることなどで販売高8億2，000万円を目指します。

28年度優良出荷会員表彰では、販売金額や点数、品目数などを基準に35人を表彰。萩原嘉昭伊達地区担当常務や八巻忠一会長が代表者に表彰状を手渡しました。

▲八巻忠一会長（左）から表彰状を受け取る佐藤トキ子さん

消費者交流・食農育にも活用

ミニトマト定植式

JAとみらいアグリサービス（株）は、「ミニトマト定植式」を4月4日、「みらい百彩館んめ～べ」隣の公開農業施設で行いました。

式には萩原嘉昭伊達地区担当常務や新入職員らが出席。萩原常務は「新入職員研修の一環としても行っている。今後の生育を見守りながら、自分たちも成長してほしい」とあいさつ。萩原常務、舟山悦雄地区本部長、高橋弘営農経済担当部長が苗の定植を行い、新入職員9人が定植作業を行いました。

同施設は、地域の子どもたちの食農育や消費者との交流を行う地域農業の拠点としても活用します。

▲苗を植える（左から）舟山本部長、萩原常務、高橋部長

あんぽ柿の絵本原画や写真展示

伊達市梁川美術館企画展

3月で閉校になった伊達市立五十沢小学校の児童が特産のあんぽ柿や地域を学ぶ中で、震災後のあんぽ柿PRなどに携わった活動をつづった絵本「カッキーとカッキーナのゆめ」の原画などを紹介する展覧会が4月1日～16日、伊達市梁川美術館で開かれました。

絵本では、原発事故後児童たちがあんぽ柿の復活を願い考案した柿のキャラクター、カッキーとカッキーナを通して、あんぽ柿についてや、あんぽ柿のPRに東京都内に出向く児童らの姿などが描かれています。展覧会には、絵本の原画やJAあんぽ柿フォトコンテストの作品も展示されました。

▲絵本に登場するカッキーとカッキーナの原画

農家女性グループ地場産品をPR

料理加工・みゅーるの会

梁川町白根の料理加工グループ「みゅーるの会」は4月8・9日に開かれた「伊達のふる里さくらまつり」で、白根特産品を使った加工品で地元産品をアピールしました。桜まつりでは、同会の商品、「もろこしもち」や「白根のへそ大根」のほか、桜まつり用に手作りしたお汁粉や、へそ大根の煮物を販売。試食なども振る舞いながら、訪れた花見客にアピールしました。同会の商品は、直売所「であい」や、「みらい百彩館んめ～べ」で販売中です。

▲商品をアピールする会員

祐綺ちゃんに心臓移植を

こらんしょ市で募金呼びかけ

▲募金を呼び掛ける職員と同会のメンバー

拡張型心筋症を患う中川西祐綺ちゃん（東白川郡棚倉町）の移植手術を実現させるために発足した「ゆきちゃんを救う会」の会員や当ＪＡの職員は4月2日、募金活動を農産物直売所「こらんしょ市二本松店」で行い、来店客に協力を呼び掛けました。

祐綺ちゃんは生後3か月の時に心不全のため県立医大で治療を受けましたが、回復が見られないことから大阪府の国立循環器病研究センターに転院。そこで、拡張型心筋症と診断されました。ご両親はアメリカでの心臓移植を決意しましたが、治療費や渡航費、滞在費などを全て合わせると約3億円近い資金が必要になることがわかりました。

お父さんの純一さんの会社仲間が「祐綺ちゃん一家を悲しませたくない」との想いで、昨年11月に会を発足。県内外のイベントや道の駅などで募金活動を行っています。

会員の石川友康さんは「目標金額までもう少し。今後さらに力を入れていきたい」と支援に意欲を見せました。

出荷規格や栽培管理について確認

アスパラ専門部会

▲出荷規格を確認する生産者

安達地区やさい部アスパラガス専門部会は3月29日、本宮営農センター青田集荷場で出荷目揃い会及び栽培管理講習会を開きました。生産者や営農指導員約20人が参加し、出荷規格の統一や今後の管理のポイントを確認しました。

目揃い会では営農指導員が1束の太さや長さ、穂先をしっかり揃えることや鮮度を保持するために早朝の収穫に努めるよう呼び掛けました。その後、安達農業普及所の普及員が温度管理やかん水、立茎の時期や配置などを説明しました。

生産者は「しっかりとした管理を行い、品質のいいものを作っていきたい」と話していました。

新学期祝いシフォンケーキ贈る

白沢支店

新学期を祝おうと白沢支店は4月7日、同支店管内の幼稚園の園児や先生に米粉のシフォンケーキ118個をプレゼントしました。

プレゼントしたのは糠沢・白岩・和田の幼稚園。同支店の菅野憲之支店長がそれぞれの園長先生に米粉のシフォンケーキを手渡しました。

味わった園児は「ふわふわしていておいしい」と笑顔で話していました。

▲米粉のシフォンケーキを手渡す菅野支店長（右）

繭文化感じて

東和支店に繭桜登場

▲繭桜を楽しむ来店者

東和支店は3月末から4月末まで、支店入口に高さ約2ｍの「種繭（たねまゆ）」の繭玉を使って作られた桜を展示しました。

この繭桜は伊達市梁川町の富野地域で繭玉を使った工芸品作りを行っている繭手工芸グループが製作。枝を組み合わせた土台に繭玉で作ったたくさんの花びらを取り付け、本物の桜そっくりに仕上げた作品です。

同支店の菅野哲雄支店長が今年3月に梁川町で開かれた「繭手工芸品展示発表会」に出品されていたこの繭桜を、当ＪＡのホームページで見たのがきっかけ。「東和地域は昔、伊達市梁川町と同様に養蚕が盛んな地域だったことを利用者に感じてほしい」と思いを募らせた菅野支店長は、主催者側に話をしたところ、製作したグループから快く借り受けることができ、今回の展示が実現しました。

同グループの八巻芳子会長は「梁川町と同じ養蚕地帯だった東和に、私たちの作品が地区を越えて紹介されて嬉しい」と満面の笑みを浮かべました。

他にも菊の千輪咲をイメージした作品も展示しました。

▲花びらからは繭の糸が分かる

次年度に向けて検討会

安達地区やさい部

▲今年度の対策を確認する生産者

安達地区やさい部は4月13日、ラポートあだちで安達地区秋冬野菜実績検討会を開きました。部会長や役職員など約50人が出席し、平成28年度の販売実績や29年度の対策について確認しました。

菅野徳一郎安達地区担当常務は「全体目標の３００億円達成に向け、これまで培ってきた経験を生かし、さらなる高品質栽培に取り組んでほしい」と強調。検討会では、職員がネギやあさつきなどの生育概況や28年度の販売実績を説明。その後、品目ごとに分科会を開き、28年度の作柄や販売情勢を振り返り、29年度の対策について確認しました。

桜の下をウォーキング

第1回健康ツアー

安達地区本部は4月22日、健康ツアーを開き、喜多方市で開かれた「蔵のまち喜多方桜ウォーク」に、約50人が参加しました。

同ツアーは健康寿命１００歳プロジェクトの一環で、県内で行われるウォーキング大会に年4回参加します。

参加者の皆さんは春の心地良い風を浴びながら満開の桜の下をウォーキング。ゴール後にはなめこ汁と喜多方ラーメンで歩いた疲れを癒し、大満足のツアーとなりました。参加者は「疲れが吹き飛ぶくらい桜が綺麗で、参加して良かった」と話していました。

次回は7月に行います。

▲ウォーキングでさわやかな汗を流した参加者

第9回パークゴルフ大会開催

農林年金受給者連盟相馬支部

▲参加者の皆さん

会員の健康増進と親睦を深めようと、農林年金受給者連盟相馬支部は3月23日、相馬市の相馬光陽パークゴルフ場で「第9回農林年金受給者連盟パークゴルフ大会」を開き、会員23人が参加しました。

参加した皆さんは、一打一打のボールの行方に一喜一憂しながら楽しいひと時を過ごしました。

結果は次の通りです（敬称略）

優　勝＝小野田　功（鹿島）
準優勝＝遠藤　彰子（鹿島）
第3位＝西　陽子（鹿島）
第4位＝遠藤　雄幸（鹿島）
第5位＝平田　一（原町）

食と農業への理解深めて

補助教材本贈呈

食と農への理解を深めてもらおうと、そうま地区では管内の4市町村の教育委員会に、小学5年生向け補助教材本「農業とわたしたちのくらし」約900冊を贈りました。

4月12日には、星保武そうま地区担当常務が同地区管内の教育委員会を訪れ、教育長に「学習に役立ててください」と冊子を手渡しました。

この冊子はJAバンク食農教育応援事業の一環で、食と農の関わりが分かりやすく記載してあり、毎年管内の小学5年生に贈られ、活用されています。

▲阿部貞康教育長に冊子を手渡す星地区担当常務（左）

平成29年度の目標必達に向けて

LA・MA進発式

▲目標必達に向けて決意表明

そうま地区は4月6日、平成29年度の金融・共済事業の目標必達に向けて「平成29年度金融・共済事業恒常推進進発式」を南相馬市原町区内で開催し、役職員・関係者など69人が参加しました。

進発式では、今村秀身専務があいさつした後、目標必達祈願だるまへの入瞳、LA・MA代表による決意表明の他、昨年のだるまの開眼も行われ、組合員一人ひとりのニーズに即したきめ細かい商品を積極的にアピール・提案に取り組むことを確認しました。

被害の未然防止へ連携

防霜対策本部設置

▲地区本部玄関に看板を設置する星常務（左から3番目）

そうま地区は農作物の凍霜被害を未然に防ぎ、農家経営安定を図るため4月3日、地区本部に防霜対策本部を設置しました。

星保武そうま地区担当常務を本部長に、営農経済担当部や各営農センター、管内の市町村防霜対策本部、関係機関などと連携を図りながら、対策に取り組んでいきます。

設置期間は5月31日までです。

全国3位に輝く

食材宅配全国統一ふれ愛キャンペーン

▲表彰される北内マネージャー

昨年5月から8月にかけて実施した平成28年度のキャンペーンで、そうま地区食材センターが全国3位に輝きました。同キャンペーンは食材の配達員（ふれあいさん）1人あたりの新規会員の獲得件数に応じて順位が決まります。そうま地区食材センターでは期間中、1人あたり5・3件の新規会員を増やすことが出来ました。

4月3日には地区本部で表彰式を行い、北内勇一マネージャーが賞状を受け取りました。

北内マネージャーは「今後も、食材のメリットを理解してもらいながら利用者を増やしたい」と話していました。

新役員決まる

「大地」直売部会総会

イオンスーパーセンター南相馬店内にある農産物直売所「大地」の直売部会は3月24日、平成28年度直売部会総会を原町総合支店で開催し、生産者やJA職員など約40人が出席しました。

議事では平成28年度の事業報告や販売実績、平成29年度の活動方針についての確認に加え、役員改選に伴う新役員を決定しました。

新役員は以下の通りです（敬称略）

部 会 長＝志賀　義一（原町）
副部会長＝小川　弘美（鹿島）
会　計＝早坂　一義（相馬）
監　事＝小林　広利（原町）
監　事＝青田より子（鹿島）

▲総会の様子

第2回通常総会を開催

年金友の会小高支部

▲あいさつをする太田隆章支部長

年金友の会小高支部は4月20日、第2回そうま地区年金友の会小高支部通常総会を南相馬市鹿島区のさくらホールで開催しました。

総会では平成28年度事業報告の後、29年度の事業計画を含む2つの議案が可決承認されました。

また、健康講話として南相馬市役所長寿福祉課の大井千加子さんが「認知症サポーター講座」と題して講演し、アトラクションでは夢見亭わっぱさんと多田そうべいさんの講演で会場は笑顔に包まれました。

「黄色いハート」定植前後の管理を学ぶ

かぼちゃ栽培指導会

そうま地区は4月20日、かぼちゃ栽培指導会を南相馬市鹿島区の水谷一慶さんの圃場で行い、生産者や関係者27人が参加しました。

指導会では相双農林事務所の宮川貴光技師やカネコ種苗㈱の野口総一郎研究員が今後の気象情報と単価の良い7月中の出荷を目指した作業計画、圃場準備、定植のタイミングなどについて説明。参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

▲指導会の様子

おでかけみらいろ〜ど 国見町編

気の向くままに散歩道

今回は宮城県との県境に位置する国見町を散策。桃の花が綺麗なスポットやゆったりできる公園、国の有形文化財に登録された石蔵などを巡りました♪

1 中尊寺ハス池

8月に見ごろを迎える「中尊寺ハス」。奥州藤原氏が阿津賀志山防塁を築いたことから国見町は、岩手県平泉町とゆかりのある町として、平成21年に中尊寺からハスの株を譲り受けました。

現在は育成会の方々が丁寧に手入れをするため、毎年、淡紅色の見事な花が池周辺を彩ります。開花時期は7月上旬から9月上旬頃まで。

●所在地　伊達郡国見町西大枝原前地内

淡紅色の花を咲かせる中尊寺ハス

2 観月台公園

●所在地　伊達郡国見町大字藤田字観月台15

観月台文化センターに隣接する観月台公園。園内の中心には楕円形の池があり、池を囲むように桜並木が整備されています。春になると町内外から多くの人が訪れる花見の名所となり、夏は新緑、秋は紅葉、冬はイルミネーションと四季折々の景色を楽しめる公園となっています。

また、屋根付きの休憩スペースや子どもたちが遊べる遊具が設置されているので、ベンチでゆっくり過ごしたり、子どもと一緒に遊んだりできる空間が広がる公園でもあります。

屋根付きの休憩スペース

子ども達が遊べる遊具

ゆったりとした時間が感じられる園内

3 防霜ファン群

●所在地　伊達郡国見町徳江地内

徳江大橋近くにある桃の園地には、何本ものファンが設置されている光景が見られます。これは4月から5月にかけて桃を凍霜害から守るためのもので、設定した温度以下になると自動的にファンが回転し始める仕組みとなっています。

桃の園地で受粉作業をしていた佐野さんに話を伺うと、設置前は寝ずに古タイヤや重油を燃やしていて大変だったとのこと。ファンが設置されてからは、凍霜害が少ないことや「安心して夜寝れることが一番だ」と笑顔で話してくれました。

春には桃の花が咲き誇り、側を流れる阿武隈川の沿道からの景色は見る人を圧倒します。

何本も並ぶ防霜ファン

受粉作業をする佐野さん

4 旧小坂村産業組合石蔵

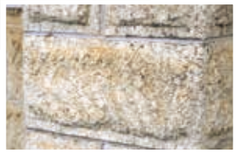
「歴史まちづくり法」を生かした「歴史まちづくり計画」を進める国見町は平成27年に、当JA小坂支店内にある旧小坂村産業組合の石蔵を国の有形文化財にしようと、登録に向けて必要な調査を実施し、国に申請。28年3月に開かれた国の文化審議会で、登録文化財に相応しいと認められ、同年8月に国の有形文化財として登録されました。

この石蔵は同町内で現存する石蔵の中では最大級のもので、昭和16年に国見石を用いた木骨造平建てという希少な建築技法で建てられました。

●所在地　伊達郡国見町大字内谷字西堂45

石蔵に取り付けられた
文化財プレート

有形文化財に登録された石蔵


国見石は火に強く軟らかいのが特長

農業人

ハウス内環境を追及する植物目線の栽培

農業所得アップ
みらいろ！テン
所得向上への取り組みを紹介しています。

福島地区　**梅宮 照彦**さん

●栽培品目　キュウリ　●栽培面積　促成50㌃・半促成20㌃・抑制70㌃

▲収穫される良質なキュウリ

▲「環境制御の取り組みでキュウリの生育に勢いが出た」と実感

▲ハウス内の環境変化をチェック

促成・半促成・抑制の作型分散で長期安定出荷を実現

福島市鎌田でキュウリ中心の農業経営に取り組む梅宮照彦さん（58）。キュウリは、大型鉄骨ハウス6棟を駆使し、70㌃の栽培面積を手掛けます。その内、促成栽培（20㌃）・抑制栽培（70㌃）の分散した作型で、促成栽培の出荷が始まる2月中旬から、抑制栽培が終了する11月（一部12月中旬）までの長期安定出荷を実現しています。

「光合成」を重視した施設栽培での環境制御方法を導入

露地栽培とは異なる環境の中で植物を育てる施設栽培は、植物本来の営みである「光合成」の効率や、温度・湿度の関係など、自然界との違いに注目したものです。そのような中、福島地区きゅうり専門部会、JA営農指導員の取り組みの中で、キュウリ施設栽培での環境制御方法の導入が始まっています。梅宮さん方でも昨年、環境制御方法を取り入れた栽培を1棟の大型ハウスに導入。今年2年目を迎えています。植物が育つ本来の姿を大切にするこの栽培方法は、光合成に必要な光・水・二酸化炭素のバランスを重視するとともに、ハウス内の温度・湿度管理がこれまでの考え方と一変するものです。「環境制御方法を理解し受け入れることが最初の難関でした」と話す照彦さん。震災・原発事故を乗り越え、さらにその先を目指す照彦さんは、その難関を突破し導入に踏み切りました。環境制御に取り組むハウスでは、光合成に重要な二酸化炭素濃度を適正に保つ炭酸ガス発生装置や天窓自動換気などを設備。パソコンではハウス内の環境をグラフで確認。データを蓄積することで、それらを分析し日々の栽培に活かすことが出来ます。環境制御に取り組んだ昨年度、梅宮さんは約10％の収量アップを実現しています。

根張りの良い土作りと植物目線のハウス内環境を追及

環境制御に取り組むとともに、「栽培の基本は土作りにある」と、根張りの良いふかふかの土壌を目指した良質堆肥の投入と、太陽熱消毒や薬剤利用による土壌消毒を徹底しています。そのほか、暖房機による冬期間のハウス内加温や地下暖房の実施など、地面の上下バランスのとれた生育環境を追及しています。

水稲 農の達人 栽培講座 ～作業ごとのポイントや工夫を解説～

伊藤 一男氏
（安達）

佐藤 保彦氏
（そうま）

1.水管理（田植え直後～活着）

・速やかに湛水し、活着までは4～5cmの水深で苗を守る。
・強風・低温時には深水（7～8cm）管理とする。

●活着～分げつ期

・活着後は2～3cmの浅水とする。
・浅水管理にすると、日中と夜間との水温較差が大きくなり、分げつの発生が促される。

●土壌還元（ワキ）対策

・湛水状態で気温の高い日が続くと、土壌の還元が進み根の生育に有害なガスが発生する。特に排水不良田（湿田）、稲わらをすき込みした田で発生し易くなる。対策として落水・水交換、間断かんがいにより土壌への酸素供給を行う。
（田面が乾燥しなければ除草剤の効果がすぐに切れることはありません）

2.雑草防除

●除草剤の効果を維持するために

・昨年発生した雑草や、雑草の葉齢期に注意し、よく圃場を観察した上で除草剤を選ぶ。
・田んぼを均平にする。
・畦畔、水尻口からの漏水を防止する。畦畔際の代かき、畦の補修、畦シート設置は有効。
・高温時はヒエ、ホタルイの発育が進むので、代かき後の日数や雑草の葉齢に注意し、剤の使用時期の範囲内で早めに散布すること。
・散布後は必ず湛水状態（3～5㎝）を3～4日保ち、7日間程度は落水やかけ流しをしない。
・薬害発生の防止のため、異常高温時は散布しない。
・フロアブル剤、ジャンボ剤（パック）の散布は、風の弱い時間帯（朝・夕）を選ぶ。

●昨年、多発した藻類や表層剥離の対策

・発生したら徐々に落水して浅水管理を行い、降雨時に田面に雨が当たるように管理を行うと抑制される。
・除草剤（モゲトン粒剤）を使用する場合は、発生始の散布が有効。

3.中干し～穂肥まで

●中干し

・中干しは有効茎数確保後、時期を逃さず実施する。中干し後の水管理は間断かん水を行い、うわ根の発生を促進し根の健全化を図る。
・稲が低温に弱い時期は、出穂24日～12日前（7月中～下旬）。特に、最低気温が17℃を下回る低温となる場合は深水管理を行い、水の保温効果で幼穂を低温から保護することが重要。

●加里の追肥

・成分による違いはあるが、施用すると稲体の活力維持、病害虫に対する抵抗性の向上、 登熟歩合の向上などの効果がある。
実施時期：6月下旬～7月上旬　出穂45～35日前を目安に行う。
施 用 量：けい酸加里・マルチサポート　20kg/10a
施 用 量：塩化加里　7～10kg/10a

●穂肥

品種名	穂肥適期 出穂前日数	窒素成分量 （kg/10a）
ひとめぼれ	出穂25～20日前	1～2
コシヒカリ	出穂15日前	1～1.5

・今季の気温・降水量・日照時間により生育状況は変わる。幼穂長、葉色、草丈を良く観察し施用する。
・穂肥施用により、いもち病にかかりやすくなるため、防除とセットで行う。

JAからのお知らせ

◎農薬を使用する際は、ラベルに記載の登録内容（使用時期、使用量等）をよく確認し、使用して下さい。

◎防除日誌への記載漏れの無いように、農薬散布後は忘れずに防除日誌へ記帳しましょう。

◎栽培情報は当面の間、農の達人栽培講座に変更となります。

栽培情報

環境制御ってな～に？ ～施設栽培における光合成を重視した環境制御方法～

環境制御とはP20～21の農業人でご紹介した通り、植物本来の生理的現象である光合成を最大限に活かす環境をハウス内に取り入れる技術です。ステージを３ステージに分けることができます。

第１ステージは測定した環境を見直し、自分の管理を変えていくこと。

第２ステージはハウス内の環境を自然と同じ方向に向かわせること。

第３ステージは炭酸ガスを使用（炭酸ガス発生装置）し、光合成で生産された養分を作物の実の肥大や生産に利用させることを行う管理です。

自動天窓のあるハウスで栽培の方へ

ハウス内の急激な温度・湿度の変化を起こさないように、開閉は少しずつ行うことが重要です。また、時間帯設定を４～６段階とし、早朝から朝、朝から正午、正午から夕方、夕方から深夜、深夜から早朝、このような時間帯に合わせた管理を行います。

自動天窓のないハウスで栽培の方へ

急激なサイド換気を行うことで、ハウス内の湿度変化を起こしてしまうと、葉の裏側の気孔がとじ、光合成活動が停止してしまいます。自動天窓がなくてもハウスの開閉をこまめに自分で作業を行うことにより環境制御に近づけることが可能です。

このように、光合成には温度・湿度・日射の3点が重要になりますので、毎日の天候に合わせて管理していくことが重要です。左記の技術が理想でありますが、作物の光合成を高めるためには日照時間が重要であります。日照があることにより光合成が開始されますので、日照がある時に灌水を実施することが重要です。水と一緒に溶け込んだ肥料を吸い上げますので、植物がよくなります。

☆読者プレゼント

環境制御に関する書籍「ハウスの環境制御ガイドブック～光合成を高めればもっととれる～」（農文協）を抽選で５名様にプレゼントします。

任意の用紙に郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、5月25日までにFAX番号（024－529－6512）へ送信願います。送信後、営農部農業振興課（024－573－1303）までご一報いただければ幸いです。当選発表は厳選な抽選の上、商品発送をもって発表にかえさせていただきます。

抽選にもれた方にも環境制御に関する資料を差し上げます。また、書籍応募以外の方でも資料をご希望の方は営農部農業振興課（024－573－1303）までご一報願います。

せり情報

和牛せり市場・乳牛せり市場

ワンポイントアドバイス

去勢の実施は、５カ月齢までに行いましょう。
発育が良好な子牛であれば、４カ月齢実施でもかまいません。
去勢後は、牛舎をきれいにしておきましょう。

■ＪＡふくしま未来実績（開催日　4月5日・6日）

単位:円（税込）

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	56	56	766,376	1,098,360	449,280	288	2,661	284	785,700	-19,324
去	107	107	896,925	1,385,640	655,560	313	2,870	280	919,067	-22,142
計	163	163	852,074	1,385,640	449,280	304	2,802	282	858,769	-6,695

■福島県家畜市場（開催日　4月5日・6日）

単位:円（税込）

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	334	333	767,919	1,436,400	398,520	287	2,679	285	807,927	-40,008
去	480	478	883,917	1,386,720	561,600	311	2,841	277	922,512	-38,595
計	814	811	836,288	1,436,400	398,520	301	2,778	280	877,818	-41,530

■乳牛せり市場（開催日　4月19日）

単位:円（税込）

	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	前月価格	前月比
登録牛	1	367200	367,200	367,200	121	3035	―	367,200
妊娠牛	1	889,920	889,920	889,920	―	―	―	889,920
ET和雌	4	514,800	571,320	432,000	104	4,966	535,680	-20,880
ET和雄	11	626,400	726,840	378,000	94	6,683	664,632	-38,232
乳雌牛	2	25,380	45,360	5,400	62	413	―	25,380
乳雄牛	20	95,094	131,760	5,400	70	1,352	121,080	-25,986
F1雌（育成）	21	388,852	478,440	―	294	1,322	396,076	-7,224
F1雄（育成）	14	453,291	529,200	357,480	331	1,368	468,720	-15,429
F1雌（スモール）	47	296,104	393,120	203,040	71	3,070	215,110	80,994
F1雄（スモール）	67	377,871	447,120	157,680	77	4,923	330,355	47,516

桃 農の達人 栽培講座 ～作業ごとのポイントや工夫を解説～

樅山 和一郎氏(福島)　加藤 武夫氏(福島)　齋藤 正則氏(伊達)　蓬田 幸夫氏(伊達)

平成29年　開花状況

（福島地区：果樹研究所　伊達地区：桑折町伊達崎）

品　種	地区	開花始期	満開期
あかつき	福島地区	4月12日	4月17日
	伊達地区	4月12日	4月17日
ゆうぞら	福島地区	4月14日	4月19日
川中島白桃	伊達地区	4月14日	4月19日

1.病害虫防除

・ももの生育概況に合わせて適期に薬剤を散布する。
・せん孔細菌病春型枝病斑の発生が散見されているので、見つけ次第せん除し、適正に処分する。

2.予備摘果（満開後15日～20日頃）

・仕上げ摘果（核割れの起きやすい時期）をなるべく避けるため、予備摘果は極力強めな摘果をする。修正摘果は2～3回できるように着果管理をする。
・摘果作業にあたっては、まず園地を見廻し、樹勢の弱い樹から先にとりかかる。枝の中心に着果するよう、枝の先端や根元部分は全て摘果する。特に枝の先端は果実の成長が早いため核割れが起きやすい。
・実施順序
暁星⇒あかつき⇒日川白鳳・川中島白桃⇒奥あかつき
（小玉になりやすい品種⇒結実不安定・生理落果の多い品種）
・暁星等、早生品種は早めの着果制限を実施し、満開後30日までには概ね一回りする。
・核割れ（早生種・あかつきなど）、生理落果の多い品種は、急激な摘果を行わない。
・日川白鳳、ゆうぞら、ネクタリン等は数回に分けて、軽く実施する。
・花粉がないか、少ない品種の川中島白桃、ネクタリン等は、実止まりが確認できる満開後25日頃から始める。

3.潅水の実施

・晴天の日が1週間以上続き、新梢伸長が鈍るほど土壌が乾燥している場合に潅水を実施する。潅水量の目安は10aあたり、2インチポンプで約2時間程度（大玉生産の為には、特に細胞分裂の時期は充分な土壌水分が重要なポイント）

4.追肥

・葉色が淡く樹勢回復等で必要な場合のみ追肥をする。
・ももの施肥は3の倍数である3月（芽出し肥）、6月（玉肥）、9月（礼肥）、12月（元肥）に実施するが、12月の元肥でチッ素をきらさないように、有機質肥料（堆肥等）を使用すれば、追肥を行うことはない。
・「みらいろ物語」シリーズの、一発型「もも基肥」施用時は追肥不要。

5.仕上げ摘果（満開後40日～55日頃）

・細胞の肥大促進と果実肥大を促す。
・生理落果の多い品種（白桃系）では、落果が終わり次第摘果を行う。なお、障害果（双胚果や核障害果）の発生は、園地・品種によって異なるので、園地状況を良く確認する。
・実施順序
暁星⇒あかつき⇒日川白鳳・川中島白桃
・核割れ等を助長するので、硬核期（平年6月10日～30日）は、一切果実に触らないこと。

6.新梢管理

・6月は1年の中で最も伸長する時期。
・新梢が混み合ってくると日当たり・風の通りが悪くなり、樹形のみだれ、果実品質低下、農薬のかけムラがでてくるので、夏季剪定を行う。
・主枝、亜主枝の背中から発生した旺盛な徒長枝は、「成葉4～5枚残して」摘心する。
・但し、1樹当り20本前後とし、それ以上は切除しない。

7.修正摘果（収穫10～14日前）

・奇形果・小玉果・核割れ果・病害虫被害果などの障害果を、収穫前の夏季剪定と同時期に摘果する。正常果を選び着果数を制限するため、できる限り園主本人が行う。
・『1枝1果』を基本とし、最終調整を行う。
・樹上選果として、シルバーシートを敷く時に、商品価値のない果実（よろけ果）は落とす。

8.収穫前～収穫時管理

・枝吊り、支柱立ては収穫14日前に行う。
・着色管理、葉摘みは、着色開始期から終了時まで行う。
・シルバーシート（反射シート）は、収穫7～10日前を目安に、白色シート（スノーテック・パールライトSHなど）は、収穫14日前を目安に敷く。
・収穫は涼しい朝方に行う。

農薬については最寄りの営農事業所までお問い合せ下さい。使用する際は、隣接する作物、ハウス等に飛散しないようご注意下さい。また散布する日の天候条件を十分考慮しご使用下さい。

◎福島地区飯坂営農センター安斎浩二、伊達地区本部指導販売課徳江真彦が監修しました。

ももの担い手農家と確認!!
アッププラン目標値達成に向けて

管内の優良もも農家の事例をご紹介します　**自分の農業経営の強み・弱みが一目瞭然！**

＜平成28年産の品種毎の出荷データ＞　（色塗部分は目標達成）

品種		面積 (a)	成木 (本)	出荷数量 (t)	反収 (t/10a)	Aゾーン率 (%)	Aゾーン JA販売単価 (円)	JA販売単価 (円/kg)	販売額 (万円)	10a当たり販売額 (万円)	10a当たりJA販売通帳振込額 (万円)
早生		13	33	4.7	3.6	—	—	343	154	118	76
中生	あかつき	32	80	15.9	4.9	21.2	504	431	660	206	134
中生	まどか	32	80	16.3	5.0	37.0	443	402	559	174	124
晩生	川中島白桃	40	100	15.3	3.8	42.6	378	344	481	120	102
晩生	ゆうぞら	12	30	5.4	4.5	24.9	445	383	179	149	106
晩生	その他	4	10	2.0	5.0	—	—	452	92	230	201
極晩生		36	90	8.7	2.4	—	—	531	398	110	89
もも計		169	423	68.3	4.0	—	—	359	2,523	149	105
りんご		24	—	6.1	2.5	—	—	—	167	—	—
計		193	—	74.4	—	—	—	—	2,690	—	—

ももネクター	深コンで約500箱。毎年減少を目標。	もも選果格外	平コン1.5個（目標は1個以下）

所得アップに向けた改善目標・課題を明確に決定！

●JA出荷が95%（個人販売はAゾーン率に計上）
●協議会目標の**「10ａ当たり　2.5t　100万円」**の目標はそれなりに達成している。
《重点取組事項》の**「現状18～20本（開心形）/10aから16本（低樹高栽培）」**は我家では上記本数（概ね25本/10a）で栽培。
●**「Aゾーン率　45%」**の目標は未達成。秀品率アップのために適期作業に努めたい。　課題が明確に!!
●**「糖度平均13度以上」**は我家には厳しい目標。
有機肥料の施肥、光合成活用のため製品化率を低下させない範囲で遅取り検討。今、平均13度以上の高糖度の割合の多い農家の取組を是非教えていただきたい。
また、規格外品になってはおしまいなので《重点取組事項》の「◎栽培管理の徹底　①収穫遅れ防止適期収穫、収穫時の雇用確保」に注意する。
●残念ながら規格外品を活用した6次化（1次化：生産×2次：製造×3次：販売）は先の課題だが、JAと協力しながら取り組みたい。
●雇人費は460万円。震災前は164万円。年齢には勝てないが、地元の雇用には貢献していることになっていると納得。
●専従者給与は433万円。専従者給与控除後の農業所得が損害賠償金とほぼ同額。損害賠償がないと私の所得がなく、これが厳しい現実。
●昨年12月開催の農業経営講演会講師：トップリバー嶋崎秀樹社長の「私たち農業者も、先輩が後輩に時代はこうなるよ、人々のニーズはこうなっていくよ、だから農業者はこういう経営をしていくべきだよと、教えていくような業界にならないといけない」との言葉に触れ、データを提供させていただいた。

所得アッププラン（改善目標）の明確化

①平成28年度の課題	ネクター発生、Aゾーン未達
②平成29年度目指す姿	農の達人の助言や連絡協議会重点取組事項に忠実に取り組んでいきたい。
③自分が取り組む事	収穫時の工夫によりネクター抑制
④JAに期待している事	みらいろテン運動（販売単価2%アップ・生産資材5%ダウン）、後継者育成、営農指導、（制度が続く間の）損害賠償請求手続
⑤目標販売高	販売高は現状維持、所得アップに重点 （※営農指導員が目標改善農家5戸と取り組んでいる項目を記入いただいた）
⑥5年後の目標	体を大事に、体が続く限り80代（農業）現役で送れる礎を築き、農業の喜びを味わいたい。

※**Aゾーンとは「特秀18・16・15・13玉」**。個人販売・傷害果・個選も出荷数量・販売額に計上。
※**「10a当たりJA販売通帳振込額100万円」**は広報誌1月号の連絡協議会役員懇談会で協議された目標。
※地域農業計画策定段階で「10a当たり最高反収3.5t 最高販売額実現農家　140万円」と記載しましたが、上回る農家が存在しておりました。
※当資料作成を希望の方は営農部園芸課（℡024－573-2905）・農業振興課(024-573-1303)までご連絡願います。
※当シリーズ連載を合併事業計画書65頁「農業所得600万円農家による農業所得アップ研修」に代えさせていただきます。

輝きを未来へ 相馬農業高校

「地域に元気を発信しよう！」を合言葉に

【ベラルーシ共和国の高校生来日】

ベラルーシ共和国の高校生が3月27日、南相馬市に来日し、相馬農業高校で「今、原発事故後の社会に生きる」をテーマにした交流会を行いました。

今回の交流を通じて「原発事故が起こったことをけっして風化させてはならない」という、私たちと同じ思いを持っている高校生が遠く海外にいることを感じ、とても嬉しく思いました。

交流会の後には校内を案内し、今回の体験から「相馬農業高校の生徒としての自覚と誇りをもって活動していきたい」と改めて思いました。

（天沼）

【ホームページコンテストで特別賞受賞】

慶応義塾大学SFC研究所主催の全国農業高校・農業大学校を対象としたホームページコンテストの授賞式が3月28日に行われました。相馬農業高校は、1次審査で全国47都道府県の代表校及び特別枠に選抜された65校の本審査に残り、「審査員特別賞」を受賞しました。

審査は、「1. 自分たちらしい新しい農業への夢や希望が表現されている」「2. 学校が外部とつながるための役割を果たしている」「3. 学校の特徴や独自の活動が表現されている」「4. 地元農業との関係に貢献している」「5. 農業と農業以外の分野との架け橋として役に立っている」「6. 農業の国際連携に貢献している」などを主たる項目として実施されました。

ぜひ、相馬農業高校のホームページをご覧ください。

http：//www.soma-ah.fks.ed.jp

▲教室を訪れるベラルーシの高校生

▲ホームページコンテストの受賞校

【ハマナスの研究】

本校では、地域に咲いているハマナスの栽培などの研究を行っています。その一環として今回は、ハマナスの根から抽出した染料を用いた染色を試みました。はっきりとした色ではなく、淡い色合いの趣がある良い仕上がりとなりました。色々と試行錯誤をしながら、実や花だけではない、地域の商品開発に向けて頑張っていきたいと思います。

▲ハマナスの根抽出の染料で染色を行った生徒

よくわかる福大農学系学部設置について

NEWSPAPER

作物栽培領域を学問する

髙田大輔 福島大学 農学系教育研究組織設置準備室 准教授

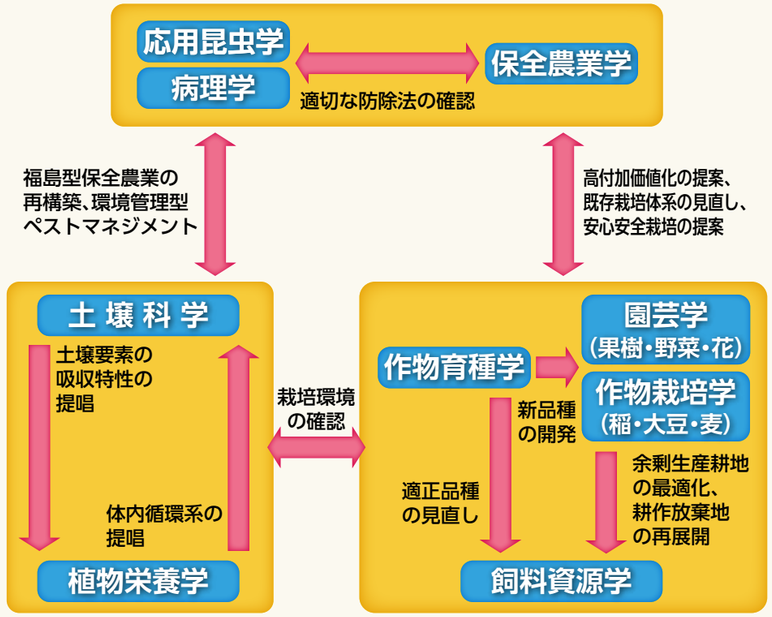
前回、前々回と福島大学食農学類（仮）の基本構想あるいはその根幹となる4つの専門領域についてご紹介しました。今回は専門領域の一つである、作物栽培領域について紹介したいと思います。本領域ではその名称の通り、稲作、果樹、野菜などの作物の栽培に関する領域であり、いかに安定して高品質な農産物を生産できるか？といった課題に主に取り組むことなります。

本領域内での各分野の関わり合いについて、図に示しました。もちろん、本大学の食農学類ではこれまでに紹介した通り、領域の垣根を越えて、学生教育、学術研究、地域農産業への貢献を遂行していく訳ですが、今回は、作物栽培領域内でのそれぞれの役割や構想に絞って紹介したいと思います。

福島県はいわゆる農業県と言われる都道府県の1つであると思います。そこで、作物栽培領域との名の通り基礎となるのは、作物学や園芸学などの栽培を主体とする分野であることは間違いありません。この作物生産を支える分野の1つとして、品種適正や構成を検討する育種学という分野が位置付けられます。この分野は、新たな品種を開発するだけでなく、既存の品種を見直すためにも存在します。昨今の気象変動に対応して、適地適作となる品種は、変わりつつあります。このような変動の中で埋蔵遺伝資源を再発掘して、利用することが重要です。耕作放棄地の増加への対応、あるいは、米作などの余剰生産地の最適化を行うために、飼料作物やバイオエネルギーへの転換を目的とした、飼料資源学とも結びつきます。

ただ、植物そのものに関する分野だけで、栽培のすべてを補えるわけではありません。作物の栽培には、その土地ごとの栽培環境を把握する必要があります。これは土壌学や植物栄養学が密接にかわります。人類の食料を賄えるだけの作物を生産するには土壌が必要であることは周知の事実です。その要素を植物がどのように吸収し、どの程度の養分が必要で、光エネルギーがどの程度必要か？を把握する植物栄養学へと結びつきます。この作物の必要養分を把握することで、余剰投入を行わない農業、つまり環境保全農業に結びつく最適解が得られることでしょう。土地への余剰な投入は、環境負荷のみならず、病害虫の管理にとっても悪影響を及ぼす場合があります。農地の適正管理にとって病害虫の管理は重要ですが、環境保全型農業の動脈と言っても良い安全安心の農産物を生産するための低投入農業ではさらに重要となります。両者の関係性を昆虫学や植物病理学などの視点から解析することは必須です。ただし、食料生産の基礎がないまま、環境保全型農業を謳ってもうまくいくわけがありません。そこで、基本となる栽培学（作物・園芸）との試行錯誤をすることなります。このような領域内での学問を分野循環させることで福島県としての最適な作物生産に結びつくアイデアや人材を輩出できればと考える次第です。

このようにして生産された県内農産物は、他の専門領域の助力も得ながら、高付加価値化・攻めのマーケティング要素を加えながら、流通を展開していくこととなります。この図は、あくまで一例で、他の領域や、もちろん地域の産業との関わり合いも重要です。本図で言うところの矢印（⇔）は、本大学から読者の皆さんにも向いています。本食農学類では様々な方々を巻き込みながら、様々に展開していきたいと考えています。



図：作物栽培領域内での各専門の関わり

女性部 活動紹介

女性部本部総代会を開催 橘内弘子部長を再選

女性部本部は第2回通常総代会を4月5日、北信支店で開き、女性部の総代や来賓、JA関係者ら135人が出席。役員改選を含む5議案全てを可決承認し、部長には橘内弘子さん（福島地区）を再選しました。

総代会では、橘内弘子部長が「強力な結束力を以って一歩踏み出す勇気の実現・実践で、輝くみらいろのもと女性らしい活発な活動を進めていく」とあいさつ。菅野孝志組合長が祝辞を述べました。議事では、伊達地区の小野富美江さんが議長を務め、平成28年度事業報告・収支決算報告や29年度事業計画・収支予算、規約の一部改正、役員改選などを協議し全議案を可決承認しました。事業報告では、特に県内の関連3大会で最優秀賞を受賞し、3冠を達成した快挙を報告。事業計画では、組織強化活動・JA運営への女性参画、健康増進活動、生活文化活動など重点実施の6項目を決議しました。終了後には、福島市公会堂で行われた東日本大震災復興・原発被害支援企画、前進座85周年特別公演「怒る富士」を鑑賞しました。

新役員を代表して橘内部長があいさつ

新役員は次の通りです。（敬称略）
- ●部　長・橘内弘子（福島地区）
- ●副部長・富田キヨ（伊達地区）・菅原ハル子（安達地区）
  ・半谷真知子（そうま地区）
- ●会　計・渡邉浩子（福島地区）
- ●庶　務・清野久子（そうま地区）
- ●監　事・佐久間ツヤ子（伊達地区）・堀内恵美子（安達地区）
- ●委　員・半澤敦子（福島地区）・佐藤京子（伊達地区）
  ・渡辺淑子（安達地区）・加藤里子（そうま地区）

女性部福島地区通常総代会

■開催　3月30日　■会場　JA福島ビル

新役員は下記の通りです。（敬称略）

▶部長…橘内弘子（飯坂総合支部）▶副部長…渡邉浩子（北福島総合支部）半澤敦子（松川総合支部）▶書記…佐藤世津子（吾妻総合支部）▶会計…髙根イヱ子（福島東部総合支部）▶監事…佐藤イネ（福島南総合支部）斎藤ミイ子（川俣飯野総合支部）

新役員を代表してあいさつする橘内部長

伊達地区本部 第1回通常総会

■開催　3月29日　■会場　桑折総合支店

新役員は下記の通りです。（敬称略）

▶部長…富田キヨ（保原）▶副部長…佐久間ツヤ子（国見）・佐藤京子（梁川）▶監事…小野富美江（伊達）・蓬田由美子（桑折）▶庶務…酒井美枝子（霊山）▶会　計…斎藤洋子（月舘）

新役員を代表してあいさつする富田部長

安達地区本部女性部通常総会

■開催日　3月25日　■会場　二本松支店

新役員は下記の通りです。（敬称略）

▶部長…菅原ハル子（安達）▶副部長…堀内恵美子（二本松）渡辺淑子（白沢）▶会計…菅野富子（岩代）▶庶務…押山淳子（大玉）

新任のあいさつをする菅原部長

そうま地区本部 第1回通常総代会

■開催　3月19日　■会場　そうま地区本部

新役員は下記の通りです。（敬称略）

▶部長…半谷真知子（原町）▶副部長…清野久子（小高）加藤里子（新地）▶庶務・会計…会田ツタ枝（飯舘）▶監事…大塚悦子（鹿島）伊東千恵子（相馬中村）

再任された半谷部長

5年ぶりに復活 女性部飯坂総合支部交流会

女性部福島地区飯坂総合支部は４月４日、女性部のフレッシュミズ・ミドル・エルダー部会の３世代交流会を開きました。福島地区における女性部３世代交流会は、飯坂総合支部（旧女性部飯坂方部）が発祥とされていて、現在は、女性部福島地区全体での「３世代交流着物パーティー」へと発展。飯坂総合支部単体での交流会は今回が５年ぶりの開催となります。

交流会では福島市出身の朗読家のにほんまつ千比呂先生と音楽家の大宮妙子先生を講師に招き、朗読と音楽のコンサートを行いました。参加者は声の出し方を学びながら春の歌のメドレーを歌って楽しみました。

感情を込めて歌う参加者

つるし雛で端午の節句

型紙作りをする皆さん

そうま地区の女性大学つるし雛サークル1期生の皆さんは4月13日、地区本部1階会議室でつるし雛作りを行いました。今回は5月の端午の節句を前に、兜がモチーフの雛飾りに挑戦。お茶菓子やコーヒーを囲んで歓談しながら作業をしました。

同サークルは震災後に、家に籠らず外に出て気分転換して欲しいという想いから始まりました。1期生の皆さんの出身地は新地町や相馬市、南相馬市鹿島区とバラバラですが、今では気が置けない仲となっているそう。参加者は「みんなで集まって話しながら作業するのが楽しい。おしゃべりに集中して今日中に雛飾りが作り終わらないかもね」と話していました。

完成品

自給野菜の普及目指し 全支部で野菜作り教室開く

野菜作りの基本を学びました（白根支部）

女性部伊達地区梁川総合支部は、自給野菜の普及を目指し、全8支部の部員を対象に支部ごとに「野菜作り教室」を毎年開いています。参加者には、野菜の種が配付され、講習会の中で種まきの実演のほか、実際にポリポットに種まきを行って持ち帰ることもでき、毎回参加者から好評を得ています。

野菜作り教室は4月10日～13日にかけて、それぞれ8会場で行われ、合計で185人の部員が参加しました。教室の前半は、作物ごとの適正酸度の保ち方や肥料のやり方など、野菜の植え付け時のポイントを中心に、野菜作りの基本を学びました。後半は、配付されたカボチャ「ほっとけ栗たん」の種をポリポットにまく実演を行いました。支部によっては、実際に自分で種をまいて持ち帰りました。指導に当たったのは梁川町在住で土づくりマスターの八巻正好さん。八巻さんは「作物それぞれの特性に応じた栽培管理が大切」と、作物ごとに詳しく作り方を指導しました。

カボチャの種まきを実演しました（富野支部）

元気にすくすく みらいっ子

福島地区

仲良し4人組♡
野菜&果物大好き!!
いっぱい食べて
大きくな〜れ☆彡

福島市泉
- 竹山和雄さんのお孫さん
- 琉稀(りゅうき)くん(7歳)、飛那(ひな)ちゃん(9歳)、幸那(さきな)ちゃん(2歳)、侑那(ゆうな)ちゃん(5歳)

安達地区

1歳のお誕生日
おめでとう♡
これからもニコニコ
元気に育ってね!

二本松市郭内
- 阿部直子さんのお子さん
- 竜聖(りゅうせい)くん(1歳)

そうま地区

みんなを笑わせる
天才!ぐんぐん
成長して下さい♡

相馬市中野
- 森健一さん、郁美さんのお子さん
- 千夏(ちなつ)ちゃん(8ヶ月)

伊達地区

仲良し3兄妹!
いつまでも仲良くね!

伊達市保原町
- 石川知弘さん、明子さんのお子さん
- 雅基(まさき)くん(2歳)、陽香(はるか)ちゃん(9ヶ月)、裕基(ゆうき)くん(3歳)

ベジフル

みらいろキッチン

日本野菜ソムリエ協会認定の「野菜ソムリエ」が、旬の野菜・くだものを使ったおすすめの料理を紹介します！今回は野菜ソムリエの井浦さんがおすすめする、今が旬の「スナップえんどう」を使った美味しくて見た目も楽しめる「スナップえんどうの彩りサラダ」です。

今回のメニュー
スナップえんどうの彩りサラダ

旬のスナップえんどうに、彩りよく生ハムやモッツァレラチーズ、ミニトマト、コーン、人参などの具材を詰めて、見た目もきれいで美味しいおすすめのサラダです。

一般社団法人　日本野菜ソムリエ協会
■ 野菜ソムリエ　井浦弘晃さん
プロフィール：当ＪＡの職員として広報業務の傍ら、調理師、野菜ソムリエの資格を活かし、食農育の取り組みやＪＡの農産物ＰＲチームにも所属し、消費宣伝活動などにも取り組んでいる。

材料（4人分）

- スナップえんどう …… 20個
- プチトマト …… 8個
- じゃがいも …… 1個
- 人参 …… 1/2本
- むき海老 …… 100g
- コーン …… 大さじ2
- モッツァレラチーズ …… 100g
- 生ハム …… 5枚
- 卵 …… 1個
- レタス …… 2枚

＜ドレッシング＞
- マヨネーズ …… 大さじ2
- ヨーグルト …… 大さじ1
- ケチャップ …… 大さじ1
- レモン汁 …… 小さじ1
- 玉ねぎのみじん切り …… 1/4個
- 塩 …… 少々
- コショウ …… 少々
- ガーリックパウダー …… 少々

作り方

①スナップえんどうは筋をとり、塩を少々入れたお湯でさっと茹でます。
②プチトマトは半分に切ります。じゃがいもは皮を剥き、薄くスライスしフライパンで焼きます。
③人参は、小さいサイコロ形にカットし塩を少々入れたお湯でさっと茹でます。
④むき海老は、塩を少々入れたお湯でさっと茹でます。
⑤コーンは缶からだし、水気を切っておきます。
⑥モッツァレラチーズは小さいサイコロ形に切ります。
⑦卵はゆでてくし形に切り、レタスは食べやすい大きさに手でちぎります。
⑧ドレッシングの材料をすべて混ぜあわせます。
⑨茹でたスナップえんどうを開き、中に生ハム、コーン、モッツァレラチーズ、人参、ミニトマトなど好きな具材を入れます。
⑩器にレタス、じゃがいも、プチトマト、ゆで卵、生ハム、海老を盛りつけ、⑨を一緒に並べます。
⑪8のドレッシングを添えて出来上がり。

復興応援　キリン絆プロジェクトレポート

キリン絆グループが、東北の復興応援として取り組んでいる「復興応援 キリン絆プロジェクト」の中で、当ＪＡ管内で実施されたプロジェクトに参加した方々のインタビューと併せて活動をご紹介いたします。

Vol.1

そうま天のつぶ ブランド育成プロジェクト

相馬地方の水稲栽培を再生させるため、大粒の米「天のつぶ」のブランド化に挑戦。生産者としてプロジェクトに関わってきた桑折健一さんに粒の大きさ「2.05㎜以上」へのこだわりや想いについて伺いました。

自らが取り組む「プレミアム天のつぶ」

「そうま産天のつぶ」をブランドに

福島県内で最も栽培されている「コシヒカリ」に比べ草丈が低く倒伏しにくい特徴を持つ「天のつぶ」は、「震災から倒れない（負けない）」という願いから相馬地域の復興のシンボルとなっています。当ＪＡのそうま地区では平成25年から本格的に栽培が始まりました。

栽培に合わせて、課題となるのが販売（流通）面。営農部直販課そうま地区センターの米津友市センター長は「全国にはコシヒカリ』というブランドがある。それなら『そうま産天のつぶ』で全国的な知名度を上げよう」と考えました。ブランド化するために必要なのは「差別化」。「天のつぶ」の大粒という特徴を生かし、全国でも前例のない「2.05」への挑戦を始めます。

「2.05」に賛同したのが、相馬市の桑折さんでした。「そうま地区の気候に合っていて、多収量が望めるから天のつぶを作ればいいということではない。作ったものがどうしたら売れるのかを考えなくては産地が成り立たない」という想いで、特注の網目2.05㎜のふるいにかけて大粒をより強調した「プレミアム天のつぶ」を生産しています。

桑折さんはお米の選別方法を課題にしています。現在、天のつぶを網目1.90㎜と2.05㎜の2回の選別を行うことでブランド化の取組みを行っています。

しかし一度ふるいにかけたものはどうしても品質が下がってしまうため、つぶを更に大きく2.10㎜に拡大することによってその問題解決できないかを考えています。桑折さんは「天のつぶがブランド化したかどうかは、まだ始まったばかりで実感していない。でも、今後の産地を良くしていくために『2.05』は続けていきたい」と話していました。

6次化商品の開発・販売

今回のプロジェクトでは「プレミアム天のつぶ」と併せ、天のつぶの認知度を上げるために様々な商品開発やパッケージの統一を行いました。

職員がＰＲする統一パッケージの商品

特別純米酒「天のつぶ」

「天のつぶ」を100％使用した特別純米酒。味わいは淡麗辛口で、どんな料理にも合います。（製造元：㈱鈴木酒造店）

お米せんべい

「天のつぶ」を使用したサラダせんべい。お米一粒一粒の食感や味を楽しめます。

ライススイーツ

大粒米の粒感を残し、甘くてミルキーに仕上げたライスプディング風スイーツ。「ふくしまおいしい大賞2016」を受賞しました。

天のつぶ×たこ飯の素 天のつぶ×しらす飯の素

相馬地方の海産物を使った、炊き込みご飯セット。お米も同封されているので贈り物にも最適です。

復興応援 キリン絆プロジェクト

笑顔で結ぶ、人を、日本を。

「復興応援 キリン絆プロジェクト」農業支援 助成事業

（参考）
復興応援 キリン絆プロジェクトHP
http://www.kirin.co.jp/csv/kizuna/agriculture/index.html

健康コラム Health Column

血圧の話

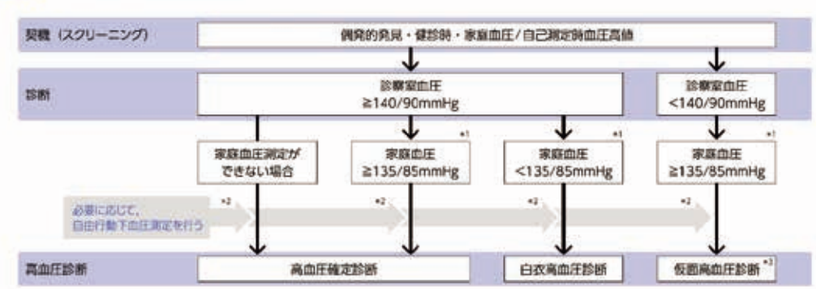
福島県農協会館診療所（所長）
重富 秀一 氏

「薬を服用することなく安全にかつ健康的に血圧を下げることができる」とか「血圧を下げる薬（降圧剤）には未だ様々な副作用があり、なるべく飲まないほうが良い」というような話を週刊誌や雑誌で読んだことがある方は多いと思います。実際はどうなのでしょう？今回は、高血圧の基本的なことをお話しします。血圧とは血液が流れるときに血管を押す圧力のことです。心臓は収縮と拡張を繰り返していますが、心臓の出口には逆流を防ぐ弁があるので、心臓が拡張したときでも血液は流れ続けます。心臓が収縮したときの血圧が最も高く、拡張したときの血圧が最も低くなります。血圧は、心臓が一回に押し出す血液の量とそのときの血管抵抗によって決まります。心臓の活動や血管抵抗は、外気温、精神状態、運動などで変化するので、正常な人でも血圧は常に変動しています。日中活動時の血圧は夜間睡眠中に比べ10～20㎜Hg程度高いことが知られています。普通の生活をしていても、一時的に血圧が高血圧域に達することもありますが、一時的な血圧上昇を高血圧とは言いません。

さて、いま高血圧で治療している人は、全国で1,000万人以上いるそうです。健診で高血圧が疑われた場合は、日本高血圧学会の高血圧の診断手順（図2－1）により診断し治療を行ないます。ほとんどの高血圧は本態性高血圧といわれる遺伝的素因を背景としたものですが、まれに腫瘍や血管病変が原因のこともあるので、初めて高血圧といわれた人は治療を始める前に専門的な検査を受けてください。

ところで、「薬を服用することなく安全にかつ健康的に血圧を下げることができる」とか「血圧を下げる薬には様々な副作用があり、なるべく飲まないほうが良い」という週刊誌や雑誌の記事をお読みになった方も多いと思います。確かに塩分を制限しただけで血圧が著明に低下する高血圧（食塩感受性高血圧）もありますが、その割合はだいたい30％位です。ただ、年齢とともに腎臓の働きは衰えてきますので、食塩感受性高血圧でない人でも塩分を控えたほうが良いのは間違いありません。ただし、生活習慣を是正（表4－1）して血圧が下がる程度は人によってさまざまですし、平均すると10㎜Hg未満なので（図4－1）、1ヶ月くらいチャレンジしても血圧が正常域まで下がらないときは降圧薬を服用して血圧を安定させるべきです。薬の副作用を過剰に心配する方もいますが、治療開始前に医師と良く相談して疑問を解消し、納得して治療を始めましょう。

図2-1　血圧測定と高血圧診断手順



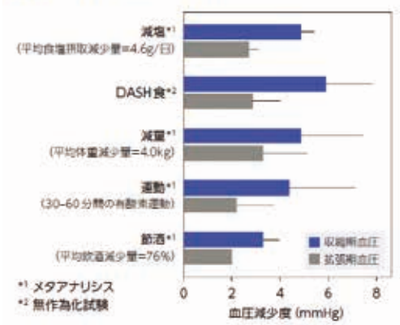
*1 診察室血圧と家庭血圧の診断が異なる場合は家庭血圧の診断を優先する。自己測定血圧とは、公共の施設にある自動血圧計や職域、薬局などにある自動血圧計で、自己測定された血圧を指す
*2 自由行動下血圧の高血圧基準は、24時間平均130/80mmHg以上、昼間平均135/85mmHg以上、夜間平均120/70mmHg以上である。自由行動下血圧測定が実施可能であった場合、自由行動下血圧基準のいずれかが以上を示した場合、高血圧あるいは仮面高血圧と判定される。またすべてが未満を示した場合は正常あるいは白衣高血圧と判定される。自由行動下血圧測定の適応は表2-4を参照
*3 この診断手順は未治療高血圧対象にあてはまる手順であるが、仮面高血圧は治療中高血圧にも存在することに注意する必要がある

表4-1　生活習慣の修正項目

1. 減塩	6g/日未満
2a. 野菜・果物	野菜・果物の積極的摂取*1
2b. 脂質	コレステロールや飽和脂肪酸の摂取を抑える 魚（魚油）の積極的摂取
3. 減量	BMI（体重(kg)÷[身長(m)]²）が25未満
4. 運動	心血管病のない高血圧患者が対象で、有酸素運動を中心に定期的に（毎日30分以上を目標に）運動を行う
5. 節酒	エタノールで男性20-30mL/日以下、 女性10-20mL/日以下
6. 禁煙	（受動喫煙の防止も含む）

生活習慣の複合的な修正はより効果的である
*1 重篤な腎障害を伴う患者では高K血症をきたすリスクがあるので、野菜・果物の積極的摂取は推奨しない。糖分の多い果物の過剰な摂取は、肥満者や糖尿病などのエネルギー制限が必要な患者では勧められない。

図4-1　生活習慣修正による降圧の程度



減塩［341］、DASH食［339］、減量［374］、運動［342］、節酒［382］

高血圧治療ガイドライン2014（日本高血圧学会編）より

みらいろ作品展

鈴木 栄子さん（伊達市保原町）

佐藤 静子さん（伊達市保原町）

佐藤 ヨシさん（二本松市）

鈴木 美江子さん（伊達市梁川町）

野田 好子さん（伊達市保原町）

米倉 由枝さん（南相馬市鹿島区）

桑折 ツネ子さん（南相馬市原町区）

佐藤 弘美さん（福島市）

阿部 政子さん（伊達市保原町）

高橋 きぬさん（伊達市保原町）

林 仁子さん（木更津市）

曳地 美雪さん（伊達市梁川町）

八巻 美奈子さん（伊達市梁川町）

宍戸 フミさん（桑折町）

岡﨑 イクさん（桑折町）

作品募集中！

絵手紙、川柳、俳句などの作品を募集いたします。
住所・氏名・年齢・ご連絡先を明記の上ハガキまたは封書にて、お送りください。また、「みらいろ」を見てのご意見、ご感想もお待ちしております。
応募締切は5月22日（月）必着です。

〒960-0185
福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「みらいろ作品展」係

※応募多数の場合は、掲載できない場合もございます、あらかじめご了承ください。

今村 久子さん（伊達市保原町）

山田 ひで子さん（伊達市保原町）

俳句・短歌・川柳

俳句

桜花川面に散りし花筏
梅村 チヨさん（南相馬市原町区）

花見する場所とり急ぐ幹事さん
吉田 フサ子さん（南相馬市原町）

桜咲く雲雀ケ原で騎馬を待つ
吉田 昭雄さん（南相馬市原町区）

離任式峠を越えし手に華を
清水 義宏さん（相馬市）

ホーホケキョ梅の小枝で春の声
大堀 スサ子さん（新地町）

七年目我（うち）が家の竹の子食べたいが
岡田 英雄さん（南相馬市原町区）

春雨に庭の樹木の光りけり
志賀 方次さん（南相馬市原町区）

春うらら猫も蛙も跳びはねる
菅井 昭子さん（国見町）

ツバメ来て宿はここかと里がえり
佐藤 弘美さん（福島市）

チューリップ頭に土の せ顔を出す
石幡 洋一さん（桑折町）

吾妻嶺に春を知らせる雪兎
夏山 繁樹さん（福島市）

陽に映る野草の強さ元気つく
武藤 ミヨさん（二本松市）

荒漠を念じ鎮撫のうぐいすや
遠藤 文子（南相馬市鹿島区）

うぐいす菜朝味そ汁に摘めば鳴く
志賀 隆雄さん（南相馬市原町区）

都会より彼待つ地元恋のぼり
松坂 義秀さん（南相馬市原町区）

短歌

今年こそゼンマイの株移植する
矢先に誰か先まわりして
岡田 英雄さん（南相馬市原町区）

観月の水辺に浮かぶ花辺を
鴨ら啄む心和むる
渡邊 等さん（国見町）

万作の花は一途に誇るけど
望みに欠けがなければいいが
安藤 直子さん（南相馬市鹿島区）

待ってたヨツバメちゃんワンルーム
今年も作るよ命をかけて
吉田 英子さん（伊達市梁川町）

捨てられず嫁入り時の下駄箱に
クミアイ印地下足袋ありぬ
佐藤 ヨシさん（二本松市）

転院し慣れぬベットに見る夢は
心に掛る家族の一齣（ひとこま）
岡崎 英也さん（桑折町）

水軍の子孫大臣に今逆に
頭を下げて南へ西へ
清水 義宏さん（相馬市）

川柳

ミサイルで外交の的外れたか
岡田 英雄さん（南相馬市原町区）

今年もまた緑のジュータン米づくり
今野 純子さん（新地町）

桜咲きそうしてられぬ雪うさぎ
笠原 富美子さん（福島市）

思い出す恩師のことば「それらしく」
佐藤 福子さん（二本松市）

六年ぶり大漁旗めく請戸港
浜野 春江さん（新地町）

忘れずにいつもの川におやこカモ
今野 純子さん（新地町）

スケートも4回転のハイレベる
浜野 春江さん（新地町）

いつまでも他力本願続かない
平間 勝成さん（南相馬市原町区）

午前二時川柳手治し二度寝する
佐藤 ツネさん（福島市）

山笑ふ誇る国見がむらを見て
志賀 隆雄さん（南相馬市原町区）

花散りて川面に浮かぶ華模様
松坂 義秀さん（南相馬市原町区）

雪山で登山訓練やらぬが得さ
藤原 馨さん（南相馬市原町区）

マスクして心の化粧忘れたか
大畑 敦子さん（南相馬市原町区）

諸会長世話した人にキバあったとは
太田 三秀さん（南相馬市原町区）

春浮き浮き放射ドキドキ笑顔カサカサ
太田 幸子さん（南相馬市原町区）

スマートフォン脳の智力を培加させ
三浦 良一さん（南相馬市原町区）

夫亡き後子孫不運に悔涙せり
林 マキ子さん（南相馬市原町区）

平和世が性犯罪多く困ったもんだ
武山 勇一さん（南相馬市原町区）

復興に市の山々坊主山
藤原 和子さん（南相馬市原町区）

東京市場云った忘れたセリつかづか？
引地 茂さん（南相馬市原町区）

避難者達伝統踊りに感動す
前川 充さん（南相馬市原町区）

菅野 恵子さん（桑折町）

清野 八智子さん（伊達市保原町）

訪問介護登録ヘルパー募集中!

勤務時間 勤務者の都合の良い時間に勤務が出来ます。但し勤務シフトによる

勤務例:「朝夕だけの勤務」「日中だけの勤務」「土・日だけの勤務」
「不規則で空いている時間だけ」「平日だけの勤務」など
もちろん、「フル稼働」もOKです。

地域の介護をみんなで支え合いましょう!!

休　日 週に1日～6日程度(シフトによる)

職　種 登録ヘルパー(介護パート職員)

資格条件 介護職員初任者研修修了(旧ヘルパー2級)以上介護福祉士資格者優遇

給　与
○通　常　時給　1,200円
○早朝夜間祝日　時給　1,500円
○日曜日　時給　1,620円
交通費、移動時間賃金を規程に基づき別途支給

勤務場所 勤務場所についてはお問い合わせ下さい

お問い合わせ先 経済部介護福祉事業課　各地区担当まで(月～金曜日　8時30分～17時)

●福島地区　024-565-3200　●伊達地区　024-575-0104
●安達地区　0243-24-6211　●そうま地区　0244-46-5037

直売所のお買い物はJAカードで!!

4月1日より、対象のJA直売所でJAカードをご利用いただくと、ご請求時に

5%割引に!

※対象店舗でお買い物の際にＪＡカードでお支払いいただくと、そのご利用分はJAカードご利用代金ご請求時に、割引いたします。
一部、割引対象外の商品・サービスがあります。
※ＪＡビジネスカード、ＪＡコーポレートカード、ＪＣＢブランドのＪＡカードは、本紙記載の特典の対象外です。
※本特典は、2017年4月1日ご利用分から対象です。ただし、割引開始時期が異なる店舗がございます。
※本特典は、2017年4月現在のものであり、予告なく割引率の変更や本特典を終了する場合があります。

割引対象のJA直売所はどこにあるの?

店頭で　このステッカー・のぼりが目印です。

店舗名
農産物直売所こら矢野目店
農産物直売所こら大森店
農産物直売所こら吾妻店
農産物直売所こら黒岩店
農産物直売所こら清水店
農産物直売所こら川俣店
みらい百彩館　んめ～べ
旬のひろば
ふれあい　旬のひろば
こらんしょ市
こらんしょ市本宮店

5%割引はどのように適用されるの?

JAカードご利用代金ご請求時に、割引いたします。

「割引前」・「割引後」の金額は、ご利用代金請求書でご確認いただけます。

(例)ご利用代金請求書イメージ

本サービスにはご注意事項があります。詳しくは三菱UFJニコス JAカードWEBサイトでご確認ください。■詳細は、お近くのJA窓口、職員までお気楽に。

好評募集中!! JAふくしま未来 特選ツアー

※専用のチラシをご用意しておりますので、お気軽にお問合せください。

福島空港発着　稚内までFDAチャーター機で直行!

稚内・利尻島・礼文島 4日間の旅

●旅行実施日／平成29年
8月4日㊎～7日㊊
●旅行代金【洋室3名様1室ご利用(エキストラベッド利用)】
(大人お1人様 福島空港起点) 168,000円(税込)

【1日目】福島空港(午後)FDAチャーター機→→→稚内空港→→→宗谷岬→→→稚内市内(宿泊)
【2日目】ホテル→→→稚内港→鷲泊港(利尻島)→→→仙法志御崎公園→→→オタドマリ沼→→→姫沼→→→鷲泊港→香深港(礼文島)→→→礼文島(宿泊)
【3日目】ホテル→桃岩展望台→元地海岸→スコトン岬→香深港→稚内港→サロベツ原野→稚内市内(宿泊)
【4日目】ホテル→稚内公園・氷雪の門→野寒布岬→海産物ショッピング→稚内空港(午前)FDAチャーター機→福島空港

新緑の上高地 ゆったり150分散策と 世界有数の山岳観光「立山黒部アルペンルート」 2日間

●旅行実施日／平成29年
7月14日㊎～15日㊏
●旅行代金【4～3名様1室利用】
(大人お1人様) 39,900円(税込)

【1日目】各地→→→上高地(圧巻の大自然をたっぷり150分)→→→大町温泉(宿泊)※露天風呂付きの温泉旅館
【2日目】ホテル→→→扇沢→→→黒部ダム(観光放水を見物)→→→黒部湖→→→黒部平→→→大観峰→→→→→室堂(郷土料理の昼食)→→→美女平→→→立山→→→→各地

1日目 東京ディズニーランド® 2日目 東京ディズニーシー® ちびっ子ファンタジー 東京ディズニーリゾート®への旅 2日間

夏休み最高の思い出作り

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第939号
TOUR 株式会社 農協観光

福島支店 〒960-0231 福島県福島市飯坂町平野字三枚長1-1
Tel.024-554-3575
総合旅行業務取扱管理者：武藤幹夫・山本　斉

伊達営業支店 〒960-0672 福島県伊達市保原町字下野崎5-1
Tel.024-575-0107
総合旅行業務取扱管理者：八雨谷孝志

旅行業公正取引協議会会員 / 日本旅行業協会正会員 / ボンド保証会員

※写真は全てイメージです。

JA団体傷害保険制度

JAグループ 共栄火災

JA自転車倶楽部

日常生活個人賠償責任補償特約付帯交通事故傷害保険

自転車事故による相手方への賠償やご自身のケガへの充実した補償

●示談交渉サービス付きですので、日本国内においてご家族が加害者となる賠償事故の場合に、共栄火災の専任スタッフがご家族に代わって示談交渉を行います。

こんなときに保険金をお支払いします

- 自転車で通行人にケガをさせてしまった。
- 駐車中の車に自転車でキズを付けてしまった。
- ショッピング中にお店の商品を壊してしまった。
- 自転車に乗っていて転倒し、入院した。
- 道路を歩行中に、車にはねられ死亡した。

年間保険料 4,800円

■お支払いいただく保険料は、被保険者ご本人の職業、年齢、性別にかかわらず、年額4,800円です。
■被保険者ご本人の年齢によるご加入の制限はありません。

- JA自転車倶楽部は、全国共済農業協同組合連合会(JA共済連)を保険契約者とし、JAふくしま未来の組合員の皆さまを加入者(被保険者)とするJA団体傷害保険制度です。
- 日常生活における賠償責任と交通事故等によるケガを、日本国内・国外を問わず補償する制度です。
- 詳しい内容は最寄のJAの支店までお問い合わせください。

取扱代理店：JAふくしま未来　引受保険会社：**共栄火災海上保険株式会社**

B1624300K1206-20161006

福島地区

経営所得安定対策加入申請相談会

米・麦・大豆等について、需要に応じた生産の促進と水田農業全体の所得向上を目的とした「経営所得安定対策」についての相談会を下記の日程で開催いたしますので、ご都合の良い日にご参加ください。

月　日	開催場所	受付時間
5月26日(金)	JAふくしま未来北信支店2F会議室	10:00～12:00
		13:30～15:30
5月29日(月)	JAふくしま未来福島東部支店会議室	13:30～19:00
5月30日(火)	JAふくしま未来松川支店2F会議室	13:30～19:00
5月31日(水)	JAふくしま未来松川支店2F会議室	13:30～19:00
6月1日(木)	市役所飯野支所2F会議室2・3	10:00～12:00
		13:30～15:30
6月2日(金)	JAふくしま未来福島南支店2F会議室	13:30～19:00
6月5日(月)	JAふくしま未来福島南支店2F会議室	13:30～19:00
6月6日(火)	市役所信陵支所2F会議室	10:00～12:00
		13:30～19:00
6月7日(水)	市役所飯坂支所2F会議室	13:30～15:30
6月8日(木)	市役所信陵支所2F会議室	13:30～19:00
6月9日(金)	吾妻学習センター2F研修室	10:00～12:00
		13:30～15:30
6月12日(月)	川俣飯野営農センター資材店舗2F会議室	9:30～12:00
		13:30～16:00
6月13日(火)	川俣飯野営農センター資材店舗2F会議室	9:30～12:00
		13:30～16:00

福島地区

平成29年度
環境保全活動実施団体助成の募集

当ＪＡ福島地区は今年度も、農産物直売所「ここら」ポイントカードの利用高ポイントの一部を環境保全活動実施団体へ助成致します。

助成対象

福島市・川俣町に拠点を置く緑花・自然景観等の改善に関わる環境市民団体で、平成29年度内に環境保全活動を実施した、または計画している団体

応募受付期間

平成29年4月10日(月)～平成29年6月9日(金)

助成額

優秀な活動と認定される団体に10万円(5団体)

応募方法

応募用紙に下記の項目を記入し、当ＪＡ福島地区の各支店・営農センターに提出して下さい。応募用紙については任意の様式で構いません。

＜記入項目＞

Ⅰ団体の概要
①団体名　②代表者氏名　③郵便番号・住所
④電話・ファックス番号(担当者氏名を記入)
⑤団体の設立目的・活動内容(写真含む)

Ⅱ今期の取り組み事業計画
平成29年3月1日～平成30年2月28日の間で取り組む(又は取り組んだ)事業について計画書を作成してください。

審査・助成後の取り組みについて

提出して頂いた書類を審査し、優秀な5団体を決定します。助成後は、活動が終了した段階(活動がすでに終了している団体についても同様)で報告書を提出していただきますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。
※報告書提出のない団体については助成金を返還して頂きます。

＜お問合せ先＞　JAふくしま未来　営農部直販課福島地区センター
TEL　024-553-3657　FAX　024-553-3119

福島地区

野菜栽培指導会の開催

★今月の内容★ ①果菜類の定植後の管理 ②病害虫防除対策 ③現在出荷品の注意点

5月26日(金)　午前10時30分～　福島南支店会議室
　　午後　2時～　庭塚地区活性化センター会議室
5月29日(月)　午前10時30分～　北信支店会議室
　　午後　2時～　川俣飯野営農センター会議室室
5月31日(水)　午前10時30分～　松川営農センター会議室
　　午後　2時～　立子山地区活性化センター会議室

※最寄りの会場へお越しください。【連絡先:営業部直販課福島地区センター】TEL(024)553-3657

福島地区

「花卉新規栽培者募集説明会」の開催について

JAの基幹作物の小菊の栽培概要についてご説明いたします。

5月22日(月)　午前10時00～　北信支店小会議室
5月22日(月)　午後　2時00～　福島南支店小会議室
5月23日(火)　午前10時00～　吾妻営農センター会議室
5月23日(火)　午後　2時00～　松川営農センター会議室
5月24日(水)　午前10時00～　川俣資材店会議室

※最寄りの会場へお越しください。

安達地区

みらいろマーケット in こらんしょ市二本松店

開催日：平成29年5月20日(土)、21日(日)　**開催場所**：こらんしょ市二本松店(二本松市杉田駄子内6-1)
内　容：新発売の未来彩ジャムや各地区の6次化商品の試食販売を行いますので、皆様のご来店お待ちしております。

福島地区

本格供給10周年
すりかみ浄水場特別公開

福島地方水道用水供給企業団は、摺上川ダムの水を浄水し、県北地方の3市3町へ水道水を供給しています。

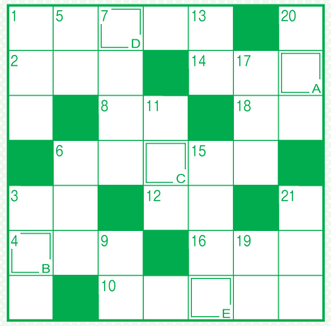
今年も6月に、すりかみ浄水場の特別公開を行います**(入場無料)**。普段は入ることのできない施設をご覧いただけます。どうぞ、お気軽にお越しください。

■日　時　平成29年6月3日(土)、4日(日)
午前10:00～午後3:00(受付時間)
■場　所 すりかみ浄水場（福島市飯坂町字沼ノ上1番地の1）
■主な催し(予定)
(1)浄水場管理本館等の見学　(2)ビデオ上映
(3)摺上川ダム紹介コーナー　(4)パネル展示コーナー
(5)出来たて水道水試飲コーナー　(6)構成団体コーナー
(7)お楽しみコーナー(水ヨーヨーなど)
(8)アンケートにご協力いただいた方に　オリジナルペットボトル水『すりかみの水』をプレゼント
■お問合せ 福島地方水道用水供給企業団 総務課契約管財係
TEL　024-541-4100　URL http://www.f-wsa.jp/

第59回水道週間スローガン　あたりまえ　そんなみずこそ　たからもの

クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか?



答え　A　B　C　D　E

タテのカギ

①身を立てて故郷へ――を飾った
③肩や腰が痛むときに貼ることも
⑤傷や病気が治ること
⑥「これが生命線で、これが運命線……」と見ていきます
⑦ろくろ首やのっぺらぼうなど
⑨梅雨どきには差す機会が増えます
⑪漆で描いた文様に金粉などを付けて仕上げます
⑬釣った魚を入れます
⑮お酒よりもお菓子が好きな人
⑰本当にあったこと
⑲つるべで水をくみ上げます
⑳1階建ての建物のこと
㉑居酒屋や料理屋の入り口によく下げられています

ヨコのカギ

①6月の第3――は父の日です
②収穫物を――・優・良に仕分けした
③梅干しの色付けにも使われる葉野菜
④止まらずに行ってしまいました
⑥近付くと雨が降りやすくなります
⑧草を刈るときに使います
⑩長崎の麺料理。ちゃんぽんと並ぶ名物です
⑫願い事を書いて奉納する板
⑭ナガス、マッコウ、ミンクといえば
⑯お手洗い、ご不浄などともいいます
⑱鬼が出るか――が出るか

応募方法

官製ハガキに、**①パズルの答え　②郵便番号　③住所　④氏名　⑤年齢　⑥職業　⑦電話番号　⑧JAや広報誌に関するご意見、ご要望、地域の話題等**を記入の上、下記の宛て先までご応募ください。

宛て先

〒960-0185　福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来**「広報誌クロスワードパズル」**係

締め切り

平成29年 **5月22日(月)必着**

先月号の答え

チ	マ	キ		ア	ゲ	ハ
カ	チ	ン	コ		キ	レ
ス		ト	ジ	マ	リ	
イ	ド	ウ		レ	ン	チ
	ラ	ン	ナ	ー		ヨ
ツ	イ		タ	シ	ヨ	ウ
カ	ブ	ト		ア	ガ	リ

マ　ー　ガ　レ　ツ　ト

たくさんのご応募ありがとうございました。
正解者の中から抽選で「みらいろオリジナルグッズ」を10名様にお送りさせていただきます。

JAふくしま未来
オリジナルキャラクター
きゅうり之介

※記載された個人情報は、賞品の発送以外の目的には使用いたしません。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

JAふくしま未来の概要

平成29年3月末現在

組合員数（正）	47,000人
（准）	47,865人
役員数　理事	55人
監事	8人
職員数	1,427人
准職員数	381人
出資金	15,854百万円
事業実績	
購買品供給高	1,344百万円
販売品販売高	992百万円
貯金高	697,463百万円
貸付金高	151,403百万円
長期共済保有高	2,742,177百万円

編集後記

山木屋と飯館村の避難指示解除から1ヶ月半。先月は取材や視察研修の同行で、山木屋に頻繁に足を運びました。でも、「足を運ぶ」こと事体が、その場所を遠くに感じている証拠。同じ管内なのに、取材ムラがあることにモヤモヤします。「みらいろ歳時記」に書いたように、5月はパワーに満ち溢れた月。空前絶後で超絶怒涛な勢いで取材に出向きたいと思います。イエエエエエー！！

（優花）

理事会報告

第1回理事会　　日時▶平成29年3月31日(金)午後1時30分
場所▶ＪＡ福島ビル10階　1001会議室

■提出議案

議案第１号　平成29年産米の取扱方針及び出荷契約定款について
議案第２号　平成29年度各利用事業の料金について
議案第３号　理事会承認貸付金について
議案第４号　平成29年度子会社に対する極度額設定による融資取引について
議案第５号　平成29年度同一人に対する信用供与等の最高限度額の決定について
議案第６号　平成29年度事業計画の修正・追加について
議案第７号　減損会計やグルーピング及び損失額確定について
議案第８号　平成28年度目的積立金の取崩しについて
議案第９号　㈱新ふくしまファーム経営改善計画(案)について
議案第10号　㈱新ふくしまファーム役員選出について
議案第11号　平成29年度農事組合長・農振会長・支部長の委嘱について
議案第12号　白沢支店新築並びに建設委員会の設置について
議案第13号　理事との利益相反取引について
議案第14号　平成30年度職員採用募集要領について
議案第15号　異動対象者に関する内部けん制強化対応要領について
議案第16号　平成29年度コンプライアンスプログラムの設定について
議案第17号　反社会的勢力等への対応に関する規程の一部改正について

農のある風景

～福島市大笹生～

地域の農業や暮らしを支える　縁の下の力持ち

5月、米どころの管内はいよいよ田植えの時期を迎えます。田んぼには水が張られ、植えられた苗は、嬉しそうにそよ風になびきます。秋には黄金色の穂を実らせます。

福島市大笹生に、農業用水を大笹生、笹谷、平野、鎌田など広範囲にわたり安定供給するため昭和25年に「円形分水口」が作られました。松川左岸の栗本堰から取り入れられた水は円形分水口の円の中心へと導かれ、中心から溢れ出た水は円内に設けられた38個の分水口から外円内を通り各方面へと配分されます。この構造は、分水量の公平性や水量調節が可能となり安定的に水を下流まで送ることができます。

円形分水口からの豊かな水で農地が潤う活気あふれる風景と、農繁期を終えた静かな風景。四季折々に変化する風景の中に、円形分水口が自然にとけ込みます。

JAふくしま未来 広報誌
5月号 2017年5月1日発行
JAふくしま未来 ふくしま未来農業協同組合 編集：地域支援部広報課
〒960-0185 福島県福島市北矢野目字原田東 1-1 TEL:024-573-7121 URL:http://ja-f-mirai.or.jp/

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C002379
この印刷物は、環境に配慮したFSC®(Forest Stewardship Council®)森林認証取得用紙を使用しています。